

前二項ノ規定ハ反訴ノ被告ニ之ヲ適用ス

第十二條 裁判所ハ婚姻事件ニ付キ當事者ニ自身出頭ヲ命シ當事者又ハ檢事カ提出シタル事實ニ付キ訊問ヲ爲スコトヲ得

當事者カ出頭スルコト能ハサルトキ又ハ遠隔ノ地ニ在ルトキハ受命判事又ハ受託判事ヲシテ訊問ヲ爲サシムルコトヲ得

出頭セサル當事者ニハ出頭セサル證人ニ關スル民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第十三條 和譜ノ調フヘキ見込アルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ一回ニ限り一年ヲ超エサル期間離婚ノ訴ニ關スル手續ヲ中止スルコトヲ得

第十四條 裁判所ハ婚姻ヲ維持スル爲メ職權ヲ以テ證據調ヲ爲シ且當事者カ提出セサル事實ヲ斟酌スルコトヲ得但其實事及ヒ證據調ノ結果ニ付キ當事者ヲ訊問スヘシ

第十五條 婚姻ノ無效若クハ取消又ハ離婚ヲ言渡シタル判決ハ職權ヲ以テ之ヲ當事者ニ送達スヘシ

第十六條 扶養若クハ同居ノ義務、子ノ監護其他ノ假處分ニ付テハ民事訴訟法

第七百五十六條乃至第七百六十三條ノ規定ヲ準用ス

第十七條 檢事カ敗訴シタル場合ニ於テハ訴訟費用ハ國庫ノ負擔トス

第十八條 婚姻ノ無效若クハ取消又ハ離婚ノ訴ニ付キ言渡シタル判決ハ第三者ニ對シテモ其效力ヲ有ス

民法第七百六十六條ノ規定ニ違反シタルコトヲ理由トシテ婚姻ノ取消ヲ請求シタル場合ニ於テ其訴ヲ棄却シタル判決ハ當事者ノ前配偶者ニ對シテハ其者カ訴訟ニ參加シタルトキニ限り其效力ヲ有ス

第十九條 檢事カ提起スルコトヲ得ル婚姻事件ノ訴ニ限り後四條ノ規定ヲ適用ス

第二十條 檢事カ訴ヲ提起スルトキハ夫婦ヲ以テ相手方トス

第二十一條 訴ノ變更若クハ併合又ハ反訴ノ提起ハ檢事カ提起スルコトヲ得ル訴ナルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

人事訴訟手續法 婚姻事件及ヒ養子縁組事件ニ關スル手續 七

訴ノ事由ノ變更又ハ併合ハ檢事カ提出スルコトヲ得ル事由ナルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 檢事ハ他ノ者カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テモ申立ヲ爲シテ訴訟手續ヲ追行シ又ハ上訴ヲ爲スコトヲ得但夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ此限ニ在ラス

第二十三條 檢事カ上訴ヲ爲ストキハ前審ノ當事者ノ全員ヲ以テ相手方トス當事者ノ一人カ上訴ヲ爲ストキハ前審ノ他ノ當事者及ヒ當事者タリシ檢事ヲ以テ相手方トス

第二十四條 養子縁組ノ無效若クハ取消又ハ離縁ヲ目的トスル訴ハ養親カ普通裁判籍ヲ有スル地又ハ其死亡ノ時ニ之ヲ有シタル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス但婚姻事件ニ附帶シテ縁組ノ取消又ハ離縁ノ請求ヲ爲ス場合ハ此限ニ在ラス

第二十五條 養親カ禁治産者ナルトキハ第四條第一項ノ規定ヲ準用ス

養子カ禁治産者ナルトキハ實方ノ直系尊屬又ハ實家ノ戸主ハ離縁ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第二十六條 第一條第二項、第三項、第二條、第三條及ヒ第五條乃至第十八條ノ規定ハ養子縁組事件ニ之ヲ準用ス

第二章 親子關係事件、相續人廢除事件

及ヒ隱居事件ニ關スル手續

第二十七條 子ノ否認、認知、其認知ノ無效若クハ取消又ハ民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ父ヲ定ムルコトヲ目的トスル訴ハ子カ普通裁判籍ヲ有スル地又ハ其死亡ノ時ニ之ヲ有シタル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第二十八條 夫カ禁治産者ナルトキハ其後見人ハ親族會ノ同意ヲ得テ否認ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第二十九條 夫カ子ノ出生前又ハ否認ノ訴ヲ提起セスシテ民法第八百二十五條人事訴訟手續法 親子關係事件、相續人廢除事件 及ヒ隱居事件ニ關スル手續 九

ノ期間内ニ死亡シタルトキハ其子ノ爲メニ相續權ヲ害セラルヘキ者其他夫ノ三親等内ノ血族ニ限リ否認ノ訴ヲ提起スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テハ否認ノ訴ハ夫ノ死亡ノ日ヨリ一年内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

夫カ否認ノ訴ヲ提起シタル後死亡シタルトキハ第一項ニ掲ケタル者ニ於テ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ得

第三十條 父ヲ定ムルコトヲ目的トスル訴ハ子、母、母ノ配偶者又ハ其前配偶者ヨリ之ヲ提起スルコトヲ得

母ノ配偶者及ヒ其前配偶者ハ互ニ其相手方ト爲ル子又ハ母カ提起スル第一項ノ訴ニ於テハ母ノ配偶者及ヒ其前配偶者ヲ以テ相手方トシ其一人カ死亡シタル後ハ其生存者ヲ以テ相手方トス

第三十一條 親權若クハ財産管理權ノ喪失又ハ失權ノ取消ヲ目的トスル訴ハ親權ヲ行フ者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第三十二條 失權ノ取消ヲ目的トスル訴ニ付テハ現ニ親權若クハ管理權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ相手方トス

第三十三條 推定家督相續人若クハ推定遺產相續人ノ廢除又ハ其廢除ノ取消ヲ目的トスル訴ハ被相續人カ普通裁判籍ヲ有スル地又ハ其死亡ノ時ニ之ヲ有シタル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第三十四條 廢除ノ取消ヲ目的トスル訴ニ付テハ廢除ニ因リテ推定家督相續人又ハ推定遺產相續人ト爲リタル者ヲ以テ相手方トス

第三十五條 隱居ノ無効又ハ取消ヲ目的トスル訴ハ隱居者カ普通裁判籍ヲ有スル地又ハ其死亡ノ時ニ之ヲ有シタル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第三十六條 隱居者カ提起スル隱居ノ無効又ハ取消ノ訴ニ於テハ家督相續人ヲ以テ相手方トス

家督相續人カ提起スル前項ノ訴ニ於テハ隱居者ヲ以テ相手方トス
隱居者及ヒ家督相續人ニ非サ者カ提起スル第一項ノ訴ニ於テハ隱居者及ヒ

人事訴訟手續法 親子關係事件 相續人廢除事件 十一
及ヒ隱居事件ニ關スル手續

家督相續人ヲ以テ相手方トシ其一人カ死亡シタル後ハ其生存者ヲ以テ相手方トス

第三十七條 檢事ハ本章ニ掲ケタル訴ニ付キ事實及ヒ證據方法ヲ提出スルコトヲ得

裁判所ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲シ且當事者カ提出セサル事實ヲ斟酌スルコトヲ得但其事實及ヒ證據調ノ結果ニ付キ當事者ヲ訊問スヘシ

第三十八條 本章ニ掲ケタル訴ニ付キ原告ノ申立ニ相當スル言渡ヲ爲シタル判決、職權ヲ以テ之ヲ當事者ニ送達スヘシ

第三十九條 第一條第二項、第三項、第三條、第五條、第七條第二項、第十條乃至第十二條及ヒ第十六條乃至第十八條ノ規定ハ本章ニ掲ケタル訴ニ之ヲ準用ス

第七條第一項、第八條及ヒ第九條ノ規定ハ第三十一條、第三十三條及ヒ第三十五條ニ掲ケタル訴、子ノ認知ノ無効ノ訴及ヒ其取消ノ訴ニ之ヲ準用ス

第二十一條乃至第二十三條ノ規定ハ親權又ハ財産管理權ノ喪失ヲ目的トスル訴及ヒ隱居ノ取消ノ訴ニ之ヲ準用ス

第二條第三項乃至第五項ノ規定ハ第三十條第二項、第三項、第三十四條及ヒ第三十六條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三章 禁治産及ヒ準禁治産ニ關スル手續

第四十條 禁治産ノ申立ハ禁治産ノ宣告ヲ受クヘキ者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一條第二項ノ規定ハ前項ノ裁判籍ニ之ヲ準用ス

第四十一條 妻カ夫ノ禁治産ノ申立ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス

第四十二條 申立ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得
申立ニハ其原因タル事實及ヒ證據方法ヲ表示スヘシ

人事訴訟手續法 禁治産及ヒ準禁治産ニ關スル手續 十三

第四十三條 裁判所ハ禁治産ノ手續ノ開始前診斷書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第四十四條 禁治産ノ手續ハ之ヲ公行セス

第四十五條 檢事ハ他ノ者カ禁治産ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テモ申立ヲ爲シ

テ其手續ヲ追行シ且期日ニ立會ヒテ意見ヲ述フルコトヲ得

事件及ヒ期日ハ檢事ニ之ヲ通知シ檢事カ立會ヒタル場合ニ於テハ其氏名及ヒ

申立ヲ調書ニ記載スヘシ

第四十六條 裁判所ハ申立ニ表示シタル事實及ヒ證據方法ヲ斟酌シ職權ヲ以テ

心神ノ狀況ニ關スル探知及ヒ必要ト認ムル證據調ヲ爲スヘシ

民事訴訟法第二編第一章第六節及ヒ第七節ノ規定ハ證人及ヒ鑑定人ノ訊問ニ

之ヲ準用ス

第四十七條 裁判所ハ鑑定人ノ立會ヲ以テ禁治産ノ宣告ヲ受クヘキ者ヲ訊問ス

ヘシ但其訊問ヲ爲シ難キトキ又ハ其者ノ健康ニ害アルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ訊問ハ受託判事ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條 禁治産ノ宣告ハ心神ノ狀況ニ付キ鑑定人ヲ訊問シタル後ニ非サレ

ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四十九條 禁治産ノ申立ニ關スル手續ノ費用ハ禁治産ノ宣告アリタル場合ニ

於テハ禁治産者ノ負擔トス

前項ノ場合ヲ除ク外手續ノ費用ハ申立人ノ負擔トス但檢事カ申立ヲ爲シタル

場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第五十條 裁判所ハ禁治産ノ宣告ヲ爲スニ至ルマテ其宣告ヲ受クヘキ者ノ監護

又ハ其財産ノ保存ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得禁治産ノ宣告ヲ爲シ

タル後其處分ヲ必要ト認ムルトキ亦同シ

第五十一條 禁治産ノ申立ヲ却下シタル其決定ハ職權ヲ以テ之ヲ申立人及ヒ檢

事ニ送達スヘシ

禁治産ヲ宣告シタル決定ハ職權ヲ以テ申立人、檢事及ヒ禁治産者ノ法定代理

人又ハ法律ニ依リ後見人ト爲ルヘキ者ニ之ヲ送達スヘシ

人事訴訟手續法 禁治産及ヒ準禁治産ニ關スル手續 十五

第五十二條 禁治產ヲ宣告シタル決定ハ禁治產者ノ法定代理人又ハ法律ニ依リ後見人ト爲ルヘキ者カ其送達ヲ受ケタル日ヨリ效力チ生ス
法定代理人又ハ法律ニ依リ後見人ト爲ルヘキ者ナキ場合ニ於テハ檢事カ送達ヲ受ケタル日ヨリ效力チ生ス

第五十三條 裁判所ハ禁治產ヲ宣告シタル決定ヲ送達シタルトキハ直チニ之ヲ公告スヘシ

第五十四條 申立人及ヒ檢事ハ禁治產ノ申立ヲ却下シタル決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四十三條乃至第四十六條ノ規定ハ抗告裁判所ノ手續ニ之ヲ準用ス
第五十五條 民法ノ規定ニ依リテ禁治產ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル者ハ其宣告ニ對シ一個月内ニ訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得

前項ノ期間ハ禁治產者ニ對シテハ禁治產ノ宣告ヲ知リタル日ヨリ之ヲ起算シ其他ノ者ニ對シテハ決定カ效力チ生シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第五十六條 前條第一項ノ訴ハ禁治產ノ宣告ヲ爲シタル區裁判所ノ所在地チ管轄スル地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第五十七條 第五十五條第一項ノ訴ニ於テハ禁治產ノ申立人ヲ以テ相手方トス

禁治產ノ申立人カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トシ檢事カ提起スル前項ノ訴ニ於テハ禁治產者ノ法定代理人ヲ以テ相手方トス

第五十八條 第五十五條第一項ノ訴ニハ他ノ訴ヲ併合シ又ハ之ニ對シテ反訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第五十九條 第二條第四項、第五項、第三條、第五條、第十條、第十一條、第十七條、第四十七條及ヒ第四十八條ノ規定ハ第五十五條第一項ノ訴ニ之ヲ準用ス

第六十條 裁判所カ第五十五條第一項ノ訴ヲ理由アリト認ムルトキハ禁治產ヲ宣告シタル決定ヲ取消スヘシ此場合ニ於テハ判決ノ確定ニ至ルマテ禁治產者人事訴訟手續法 禁治產及ヒ准禁治產ニ關スル手續 十七

ノ監護又ハ其財産ノ保存ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得
第六十一條 禁治産ノ宣告ノ取消前ニ於テ後見人カ爲シタル行爲ハ其效力ヲ變
セス

禁治産ノ宣告ノ取消前ニ於テ禁治産者カ爲シタル行爲ハ禁治産ヲ宣告シタル
決定ニ基キテ之ヲ取消スコトヲ得ス

第六十二條 禁治産ノ宣告ヲ取消シタル判決ハ職權ヲ以テ之ヲ當事者ニ送達ス
ヘシ

前項ノ判決カ確定シタルトキハ第一審ノ受訴裁判所ハ之ヲ公告スヘシ

第六十三條 禁治産ノ原因止ミタルコトヲ理由トシテ其宣告ノ取消ヲ求ムル申
立ハ禁治産者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一條第二項及ヒ第四十二條乃至第四十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用
ス

第六十四條 前條第一項ノ申立ニ關スル手續ノ費用ハ禁治産ノ宣告ノ取消アリ

タル場合ニ於テハ禁治産者ノ負擔トス

前項ノ場合ヲ除ク外手續ノ費用ハ申立人ノ負擔トス但檢事カ申立ヲ爲シタル
場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第六十五條 禁治産ノ取消ノ申立ヲ却下シタル決定ハ職權ヲ以テ之ヲ申立人ニ
送達スヘシ

禁治産ヲ取消シタル決定ハ職權ヲ以テ之ヲ申立人、檢事及ヒ禁治産者ニ送達
スヘシ第六十二條第二項ノ規定ハ此決定ニ之ヲ準用ス

檢事ハ前項ノ決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得此抗告ハ執行停止ノ效力
ヲ有ス

第六十六條 禁治産ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得ル者ハ其申立ヲ却下シタル決定
ニ對シ訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第五十六條乃至第六十條、第六十一條第一項及ヒ第六十二條ノ規定ハ前項ノ
訴ニ之ヲ準用ス

第六十七條 準禁治産ニ關スル手續ニハ本章ノ規定ヲ準用ス

第四十三條、第四十七條及ヒ第四十八條ノ規定ハ浪費者ニ之ヲ適用セス

第三條第二項乃至第四項ノ規定ハ準禁治産者ニ之ヲ適用セス

第六十八條 準禁治産ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得ル者ハ民法第十二條第二項ノ規定ニ依リテ爲シタル宣告ノ取消又ハ變更ヲ申立ツルコトヲ得此場合ニ於テハ準禁治産者ノ取消ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十九條 本章ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ノ方法ハ司法大臣之ヲ定ム

第四章 失踪ニ關スル手續

第七十條 失踪ノ宣告及ヒ其宣告ノ取消ニハ以下數條ニ定メタルモノノ外民事訴訟法第七百六十五條乃至第七百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第七十一條 失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ハ不在者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第一條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十二條 公示催告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 不在者ハ公示催告期日マテニ其生存ノ届出ヲ爲スヘク其届出ヲ爲ササルトキハ失踪ノ宣告ヲ受クヘキコト

二 不在者ノ生死ヲ知ル者ハ公示催告期日マテニ其届出ヲ爲スヘキコト
公示催告期間ハ六個月以上ナルコトヲ要ス

第七十三條 不在者ノ出生後百年以上ヲ經過シタル場合ニ於テハ公示催告ノ公告ハ裁判所ノ掲示板ニ掲示スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テハ公示催告期間ハ其公告ノ日ヨリ二個月以上ナルヲ以テ足ル

第七十四條 檢事ハ失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立ニ付キ意見ヲ述ヘ且審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ立會フコトヲ得

第四十二條第二項、第四十五條第二項及ヒ第四十六條ノ規定ハ本章ノ手續ニ人事訴訟手續法 失踪ニ關スル手續

之ヲ準用ス

第七十五條 各利害關係人ハ共同ノ申立人トシテ手續ニ加ハリ又ハ申立人ニ代ハリテ手續ヲ續行スルコトヲ得

第七十六條 不在者カ其生存ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テ申立人カ其事實ヲ認メサルトキハ判決ノ確定ニ至ルマテ公示催告手續ヲ中止スヘシ

第七十七條 失踪ノ宣告ニ關スル手續ノ費用ハ失踪ノ宣告アリタル場合ニ於テハ相續財産ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ申立人ノ負擔トス

第七十八條 失踪ノ宣告ノ判決ニ對シテ不服ヲ申立ツル訴ハ利害關係人ヨリ之ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ訴ニ付テハ失踪ノ宣告ノ申立人カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トス此場合ニ於テハ前二條第四項及ヒ第五項ノ規定ヲ準用ス

第七十九條 數個ノ不服申立ノ訴アルトキハ裁判所ハ之ヲ併合スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第五十條ノ規定ヲ適用ス

第八十條 民法第三十二條ニ依ル失踪ノ宣告ノ取消ハ其判決ニ對スル不服申立ノ訴ヲ以テ之ヲ請求スルコトヲ得但失踪ノ生存スルコトヲ理由トスル場合ニ於テハ民事訴訟法第七百七十五條ノ規定ヲ適用ス

附 則

第八十一條 本法ハ民法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八十二條 明治二十三年法律第四百號其他従前ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ牴觸シ又ハ重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第八十三條 本法施行前ニ提起シタル訴ニシテ其判決確定セサルモノニハ本法ノ規定ヲ適用ス

〔參照〕

明治二十三年(十月九日官報)法律第四百四號ハ 婚姻事件養子縁組事件及ヒ禁治産事件ニ關スル訴訟規則ナリ

法律第四百四號ハ 婚姻事件養子縁組事件及ヒ禁治産事件ニ關スル訴訟規則ナリ

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル非訟事件手續法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年六月十五日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文
司法大臣 曾禰荒助

法律第十四號

法律第五十一號(明治三十二年三月九日非訟事件手續法中改正)

非訟事件手續法

第一編 總則	一丁
第二編 民事非訟事件	八丁
第一章 法人ニ關スル事件	同丁
第二章 財産ノ管理ニ關スル事件	九丁
第三章 裁判上ノ代位ニ關スル事件	十九丁
第四章 保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件	二十一丁
第五章 隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル	二十三丁

目次

一

事件	二十三丁
第六章 相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件	二十七丁
第七章 遺言ノ確認及ヒ執行	二十八丁
第八章 法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記	三十一丁
第三編 商事非訟事件	三十四丁
第一章 會社及競賣ニ關スル事件	同 丁
第二章 會社ノ清算人ノ選任及ヒ解任	三十九丁
第三章 商業登記	四十丁

第一節 通則	四十丁
第二節 商號ノ登記	四十五丁
第三節 未成年者、妻及ヒ後見人ノ登記	四十七丁
第四節 支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記	四十九丁
第五節 合名會社及ヒ合資會社ノ登記	五十二丁
第六節 株式會社ノ登記	五十五丁
第七節 株式合資會社ノ登記	六十一丁
第八節 外國會社ノ登記	六十丁
附則	

第一章 裁判所ノ管轄ニ關スル非訟事件ニ付テハ本法其他ノ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本編ノ規定ヲ適用ス	一
第二章 裁判所ノ土地ノ管轄カ住所ニ依リテ定マル場合ニ於テ日本ニ住所ナキトキ又ハ日本ノ住所ノ知レサルトキハ居所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス	二
第三章 居所ナキトキ又ハ居所ノ知レサルトキハ最後ノ住所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス	三
第四章 最後ノ住所ナキトキ又ハ其住所ノ知レサルトキハ財産ノ所在地又ハ司法大臣ノ指定シタル地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス相續開始地ノ裁判所カ管轄裁判所ナル場合ニ於テ相續カ外國ニ於テ開始シタルトキ亦同シ	四
第五章 非訟事件手續法 總則	五

非訟事件手續法

第一編 總則

第一條 裁判所ノ管轄ニ關スル非訟事件ニ付テハ本法其他ノ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本編ノ規定ヲ適用ス

第二條 裁判所ノ土地ノ管轄カ住所ニ依リテ定マル場合ニ於テ日本ニ住所ナキトキ又ハ日本ノ住所ノ知レサルトキハ居所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

居所ナキトキ又ハ居所ノ知レサルトキハ最後ノ住所地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

最後ノ住所ナキトキ又ハ其住所ノ知レサルトキハ財産ノ所在地又ハ司法大臣ノ指定シタル地ノ裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス相續開始地ノ裁判所カ管轄裁判所ナル場合ニ於テ相續カ外國ニ於テ開始シタルトキ亦同シ

非訟事件手續法 總則

第三條 數個ノ管轄裁判所アル場合ニ於テハ最初事件ノ申立ヲ受ケタル裁判所
其事件ヲ管轄ス

第四條 管轄裁判所ノ指定ハ裁判所構成法第十條第一號ニ掲ケタル場合ノ外數
個ノ裁判所ノ土地ノ管轄ニ付キ疑アルトキ之ヲ爲ス

民事訴訟法第二十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 裁判所職員ノ除斥ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス

第六條 事件ノ關係人ハ訴訟能力者ヲシテ代理セシムルコトヲ得但自身出頭ヲ
命セラレタルトキハ此限ニ在ラス

裁判所ハ辯護士ニ非スシテ代理ヲ營業トスル者ニ退斥ヲ命スルコトヲ得此命
令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七條 民事訴訟法第六十四條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但裁判
所ハ職權ヲ以テ私署證書ニ認證ヲ受クヘキ旨ヲ命スルコトヲ得此命令ニ對シ
テハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 申立及ヒ陳述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

民事訴訟法第三十五條ノ規定ハ口頭ノ申立及ヒ陳述ニ之ヲ準用ス

第九條 申立ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 申立人ノ氏名、住所

二 代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其氏名、住所

三 申立ノ趣旨及ヒ其原因タル事實

四 年月日

五 裁判所ノ表示

證據書類アルトキハ其原本又ハ謄本ヲ添附スヘシ

第十條 期日、期間、疏明ノ方法、入證及ヒ鑑定ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ
非訟事件ニ之ヲ準用ス

第十一條 裁判所ハ職權ヲ以テ事實ノ探知及ヒ必要ト認ムル證據調ヲ爲スヘシ

第十二條 事實ノ探知、呼出、告知及ヒ裁判ノ執行ニ關スル行爲ハ之ヲ囑託ス

非訟事件手續法 總則

ルコトヲ得

第十三條 審問ハ之ヲ公行セス但裁判所ハ相當ト認ムル者ニ傍聽ヲ許スコトヲ得

第十四條 證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ付テハ調書ヲ作ラシメ其他ノ審問ニ付テハ必要ト認ムル場合ニ限り之ヲ作ラシムヘシ

第十五條 檢事ハ事件ニ付キ意見ヲ述ヘ審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ立會フコトヲ得

事件及ヒ審問期日ハ檢事ニ之ヲ通知スヘシ

第十六條 裁判所其他ノ官廳、檢事及ヒ公吏ハ其職務上檢事ノ請求ニ因リテ裁判ヲ爲スヘキ場合力生シタルコトヲ知リタルトキハ之ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ通知スヘシ

第十七條 裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

裁判ノ原本ニハ判事署名、捺印スヘシ但申立書又ハ調書ニ裁判ヲ記載シ判事

之ニ署名、捺印シテ原本ニ代フルコトヲ得

裁判ノ正本及ヒ謄本ニハ書記署名、捺印シ且正本ニハ裁判所ノ印ヲ押捺スヘシ

第十八條 裁判ハ之ヲ受クル者ニ告知スルニ因リテ其效力ヲ生ス

裁判ノ告知ハ裁判所ノ相當ト認ムル方法ニ依リテ之ヲ爲ス告知ノ方法、場所及ヒ年月日ハ之ヲ裁判ノ原本ニ記入スヘシ

第十九條 裁判所ハ裁判ヲ爲シタル後其裁判ヲ不當ト認ムルトキハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ハ申立ニ因ルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得ス

即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル裁判ハ之ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得ス

第二十條 裁判ニ因リテ權利ヲ害セラレタリトスル者ハ其裁判ニ對シテ抗告ヲ

非訟事件手續法 總則

五

爲スコトヲ得

申立ニ因リテノミ裁判ヲ爲スヘキ場合ニ於テ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ申立人ニ限り抗告ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 抗告ハ特ニ定メタル場合ヲ除ク外執行停止ノ效力ヲ有セス

第二十二條 即時抗告ノ期間ハ裁判ノ告知ノ日ヨリ之ヲ起算ス

民事訴訟法第七十四條乃至第七十六條ノ規定ハ即時抗告ノ期間ヲ懈怠シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 抗告裁判所ノ裁判ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第二十四條 抗告裁判所ノ裁判ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り抗告ヲ爲スコトヲ得

民事訴訟法第四百三十五條、第四百三十六條及ヒ第四百五十三條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第二十五條 抗告ニハ前五條ニ定メタルモノヲ除ク外民事訴訟法ノ抗告ニ關ス

ル規定ヲ準用ス

第二十六條 裁判前ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ特ニ其負擔者ヲ定メタル場合ヲ除ク外事件ノ申立人ノ負擔トス但檢察カ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第二十七條 裁判所ハ前條ノ費用ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ必要ト認ムルトキハ其額ヲ確定シテ事件ノ裁判ト共ニ之ヲ爲スヘシ

第二十八條 裁判所ハ特別ノ事情アルトキハ本法ノ規定ニ依リテ費用ヲ負擔スヘキ者ニ非サル關係人ニ費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得

第二十九條 民事訴訟法第八十條第一項ノ規定ハ共同ニテ費用ヲ負擔スヘキ者數人アル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 費用ノ裁判ニ對シテハ其負擔ヲ命セラレタル者ニ限り不服ヲ申立ツルコトヲ得

民事訴訟法第八十二條第一項ノ規定ハ前項ノ申立ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法 總則

七

第三十一條 費用ノ債權者ハ費用ノ裁判ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得

民事訴訟法第六編ノ規定ハ前項ノ強制執行ニ之ヲ準用ス但執行ヲ爲ス前裁判ヲ送達スルコトヲ要セス

費用ノ裁判ニ對スル抗告アリタルトキハ民事訴訟法第五百條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 職權ヲ以テ爲ス探知、證據調、呼出、告知其他必要ナル處分ノ費用ハ國庫ニ於テ之ヲ立替フヘシ

第三十三條 本編ニ於ケル申立トハ申立、申請及ヒ申述ヲ謂フ

第二編 民事非訟事件

第一章 法人ニ關スル事件

第三十四條 民法第四十條ニ定メタル事件ハ法人ノ設立者カ死亡ノ時ニ有シタル住所ノ區裁判所ノ管轄トス

法人ノ設立者カ日本ニ住所ヲ有セリシトキ又ハ其住所カ知レサルトキハ其死

亡ノ時ノ住所地又ハ法人設立地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三十五條 假理事又ハ特別代理人ノ選任ハ法人ノ主タル事務所所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ハ其主タル事務所所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三十六條 裁判所ハ特ニ選任シタル者ヲシテ法人ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條 第三百三十六條乃至第三百三十八條及ヒ第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ法人ノ清算人ニ之ヲ準用ス

第二章 財産ノ管理ニ關スル事件

第三十八條 不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ハ其住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三十九條 裁判所ハ管理人ヲ選任シ又ハ改任スヘキ場合ニ於テハ利害關係人ノ意見ヲ聽クコトヲ得

非訟事件手續法 民事非訟事件 法人ニ關スル事件 九
件 財産ノ管理ニ關スル事件

第四十條 裁判所ハ何時ニテモ其選任シタル管理人ヲ改任スルコトヲ得此裁判
ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

管理人ハ其任務ヲ辭メントスルトキハ裁判所ニ其旨ヲ届出ツヘシ此場合ニ於
テハ裁判所ハ更ニ管理人ヲ選任スヘシ

第四十一條 裁判所ハ其選任シタル管理人ニ財産ノ狀況ヲ報告シ且管理ノ計算
ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

民法第二十七條第二項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ不在者カ置キタル管理人ニモ
前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得

前二項ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十二條 利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閱覽ヲ申請シ又
ハ手数料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ前項ノ書類ヲ閱覽スルコトヲ得

第四十三條 民法第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十七條及ヒ第六

百五十條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル管理人ニ之ヲ準用ス

第四十四條 裁判所ハ管理人ヲシテ擔保ヲ供セシメタル後其増減、變更又ハ免
除ヲ命スルコトヲ得

第四十五條 裁判所ハ管理人ノ不動産又ハ船舶ノ上ニ抵當權ヲ設定スヘキコト
ヲ命シタルトキハ其設定ノ登記ヲ囑託スルコトヲ得

前項ノ囑託ニハ抵當權ノ設定ヲ命シタル裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ設定シタル抵當權ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四十六條 裁判所カ財産ノ封印ヲ命シタル場合ニ於テハ管轄區裁判所之ヲ爲
ス

利害關係人、管理人及ヒ檢事ハ封印ノ手續ニ立會フコトヲ得

第四十七條 左ニ掲ケタル物ニハ封印ヲ爲スヘカラス

- 一 日用品
- 二 封印ヲ爲スニ適セサル物

非訟事件手續法 民事非訟事件 財産ノ管理ニ關 十一
スル事件

三 第三者ノ占有ニ屬スル物但其提出ヲ拒マサルトキハ此限ニ在ラス
第四十八條 封印ニハ判事ノ職印ヲ用ユヘシ

民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十九條 裁判所ハ封印ヲ爲シタルトキハ財産ノ保管者ヲ選任スヘシ

第四十條、民法第六百五十八條第一項、第六百五十九條乃至第六百六十一條
及ヒ第六百六十四條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル保管者ニ之ヲ準用ス但民法
第六百六十條ノ通知ハ之ヲ檢事ニ爲スコトヲ要ス

第五十條 封印ヲ爲シタルトキハ書記ハ直チニ調書ヲ作ルヘシ

調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

- 一 封印ヲ命シタル裁判ノ表示
- 二 封印ノ手續ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由
- 三 申立人ノ氏名、住所
- 四 封印ヲ爲シタル物件、家屋又ハ倉庫

五 封印ヲ爲ササリシ物件ノ概畧及ヒ其事由

調書ハ二通ヲ作り其一通ハ之ヲ裁判所ニ保存シ其一通ハ之ヲ保管者ニ交付シ
テ受領證ヲ取置クヘシ

第五十一條 裁判所ハ利害關係人、管理人又ハ檢事ノ請求ニ因リ民法第二十五
條第二項及ヒ本法第五十九條以外ノ場合ニ於テモ封印ノ除去ヲ命スルコトヲ
得

第四十六條、第五十條第一項及ヒ民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ
除去ニ之ヲ準用ス

保管者ハ封印ノ除去ニ立會フコトヲ得

第五十二條 裁判所ハ豫メ封印ヲ除去スヘキ期日ヲ定メ申立人、利害關係人、
保管者、管理人及ヒ檢事ニ之ヲ告知スヘシ

利害關係人、管理人及ヒ檢事ハ前項ノ期日前ニ裁判所ニ異議ヲ申立ツルコト
ヲ得但民法第二十五條第二項及ヒ本法第五十九條ノ場合ハ此限ニ在ラス

非訟事件手續法

民事非訟事件 財産ノ管理ニ關 十三
スル事件

異議ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五十三條 異議ノ申立アリタルトキハ其申立ノ取下又ハ却下ノ後ニ非サレハ

封印ヲ除去スルコトヲ得ス

封印ヲ除去シタルトキハ直チニ書記又ハ公證人ヲシテ財産ノ目錄ヲ調製セシ

△ヘシ但民法第二十五條第二項及ヒ本法第五十九條ノ場合ニ於テ立會人カ之

ヲ調製セサルコトニ同意シタルトキハ此限ニ在ラス

第五十四條 封印ノ除去ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會人之

ニ署名、捺印スヘシ

一 封印ノ除去ヲ命シタル裁判ノ表示

二 封印ノ除去ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由

三 申立人ノ氏名、住所

四 異議ノ申立ナカリシコト又ハ其申立ノ取下若クハ却下アリタルコト

五 財産ノ目錄ヲ調製セシメ又ハ之ヲ調製セシメザリシコト

六 封印ノ狀況及ヒ異狀アルトキハ其事由

調書ハ裁判所ニ之ヲ保存スヘシ

第五十五條 管理人カ調製スヘキ財産ノ目錄ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ

立會人之ニ署名、捺印スヘシ

一 調製ノ場所、年月日及ヒ其事由

二 申立人ノ氏名、住所

三 不動産ノ表示

四 動産ノ種類及ヒ數量

五 債權及ヒ債務ノ表示

六 帳簿、證書其他ノ書類

財産ノ目錄ハ二通ヲ調製シ其一通ハ管理人ノ保管シ其一通ハ之ヲ裁判所ニ

提出スヘシ第四十六條第二項ノ規定ハ財産ノ目錄ノ調製ニ之ヲ準用ス

第五十六條 民法第二十七條第一項及ヒ第二項ノ場合ニ於テ裁判所ハ公證人ヲ

非訟事件手續法 民事非訟事件 財産ノ管理ニ關 十五

スル事件

シテ財産ノ目錄ヲ調製セシムヘキ旨ヲ管理人ニ命スルコトヲ得管理人カ調製シタル目錄ヲ不充分ト認メタルトキ亦同シ

前項ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

前條ノ規定ハ本條第一項又ハ第五十三條第二項ノ規定ニ依リテ書記又ハ公證人カ財産ノ目錄ヲ調製スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 利害關係人ハ財用ノ目錄ノ閱覽ヲ申請シ又ハ手数料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ財産ノ目錄ヲ閱覽スルコトヲ得

第五十八條 裁判所ハ不在者ノ財産ヲ賣却セシムヘキ場合ニ於テハ競賣法ノ規定ニ依リテ之ヲ賣却スヘキコトヲ命スヘシ

第五十九條 本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキ又ハ其死亡カ分明ト爲リ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキハ裁判所ハ本人、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命シタル處分ヲ取消スヘシ

第六十條 利害關係人ハ不在者ノ財産ノ管理若クハ保存ニ付キ處分ヲ命シ、其處分ヲ取消シ又ハ管理人ニ其權限ヲ超ユル行爲ヲ爲スコトヲ許可シタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

不在者カ置キタル管理人ハ其改任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ管理人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十一條 裁判所カ職權ヲ以テ裁判ヲ爲シ又ハ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ裁判前ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ不在者ノ財産ノ負擔トス裁判所ノ命シタル處分ニ付キ必要ナル費用亦同シ

第六十二條 裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ不在者ノ財産ノ負擔トス

第六十三條 民法第八百九十二條第二項乃至第四項ノ財産ノ管理ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

非訟事件手續法 民事非訟事件 財産ノ管理ニ關ス 十七

第三者カ數人ノ子ニ財産ヲ與ヘタル場合ニ於テ其住所カ異ナルトキハ年少ノ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十四條 第三者カ被後見人ニ與ヘタル財産ノ管理ニ關スル事件ハ被後見人ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十五條 民法第千二十一條第二項、第三項及ヒ第千五十二條ノ相續財産ノ管理又ハ保存ニ關スル事件ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十六條 民法第九百七十八條ノ遺産ノ管理ニ關スル事件ハ相續人ノ廢除又ハ其取消ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス

第六十七條 民法第千四十三條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件ハ財産分離ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス

第六十八條 第三十九條乃至第六十二條ノ規定ハ前五條ニ掲ケタル事件ニ之ヲ準用ス

第六十九條 民法第千五十二條第二項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 申立人ノ氏名、住所
- 二 被相續人ノ氏名、身分、職業及ヒ最後ノ住所
- 三 被相續人ノ出生及ヒ死亡ノ場所並ニ其年月日
- 四 管理人ノ氏名、住所

第七十條 民法第千五十八條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 前條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項
- 二 相續人ハ一定ノ期間内ニ其權利ヲ主張スヘキ旨ノ催告

第七十一條 民事訴訟法第七百六十六條ニ定メタル公告ノ方法ハ前二條ノ公告ニ之ヲ準用ス

第三章 裁判上ノ代位ニ關スル事件

第七十二條 債權者ハ自己ノ債權ノ期限前ニ債務者ノ權利ヲ行ハサレハ其債權ヲ保全スルコト能ハス又ハ之ヲ保全スルニ困難ヲ生スル虞アルトキハ裁判上

非訟事件手續法 民事非訟事件 裁判上ノ代位ニ關スル事件

ノ代位ヲ申請スルコトヲ得

第七十三條 裁判上ノ代位ハ債務者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所ノ管轄トス

第七十四條 代位ノ申請ニハ第九條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 債務者及ヒ第三債務者ノ氏名、住所

二 申請人ノ保全セントスル債權及ヒ其行ハントスル權利ノ表示

第七十五條 裁判所ハ申請ヲ理由アリト認ムルトキハ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメスシテ之ヲ許可スルコトヲ得

第七十六條 申請ヲ許可シタル裁判ハ職權ヲ以テ之ヲ債務者ニ告知スヘシ

前項ノ告知ヲ受ケタル債務者ハ其權利ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第七十七條 申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

申請ヲ許可シタル裁判ニ對シテハ債務者ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ債務者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第七十八條 抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ニ付テハ

申請人及ヒ抗告人ヲ當事者ト看做シ民事訴訟法第七十二條第一項ノ規定ニ從

ヒテ其負擔者ヲ定ム

第七十九條 第十三條及ヒ第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニ之ヲ適用セス

第四章 保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

第八十條 民法第二百六十二條第三項ノ證書保存者ノ指定ハ共有物ノ分割アリ

タル地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前共有者ヲ訊問スヘシ

裁判所カ第一項ノ指定ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ共有者ノ全員ノ負擔トス

第八十一條 民法第四百九十五條第二項ノ供託所ノ指定及ヒ供託物保管者ノ選任ハ債務履行地ノ區裁判所ノ管轄トス

非訟事件手續法 保存、供託、保管及 二十一

民事非訟事件 鑑定ニ關スル事件

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前債權者及ヒ辨濟者ヲ訊問スヘシ
裁判所カ第一項ノ指定及ヒ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ債權者ノ負擔トス

第八十二條 第四十條、民法第六百五十八條第一項、第六百五十九條乃至第六百六十一條及ヒ第六百六十四條ノ規定ハ前條ノ保管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ辨濟者ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十三條 第八十一條ノ規定ハ民法第四百九十七條ノ裁判所ノ許可ニ之ヲ準用ス

第八十三條ノ二 第八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ民法第三百五十四條ニ依リ質物ヲ以テ直チニ辨濟ニ充ツルコトヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

裁判所カ申請ヲ許可シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ債務者ノ負擔トス

第八十四條 民法第五百八十二條ノ鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ不動産所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ前項ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ買主ノ負擔トス
呼出及ヒ訊問ノ費用亦同シ

第八十五條 民法第三十二條第二項、第三十四條及ヒ第千百三十二條第二項ノ鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第八十六條 民法第四十七條及ヒ第千五十條ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任、呼出及ヒ訊問ハ第六十七條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第八十七條 民法第三十二條第二項、第三十四條、第千四十七條及ヒ第千五十條ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任ニ關スル費用ハ相續財産ノ負擔トス

第八十八條 第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニハ之ヲ適用セス

第八十九條 本章ノ規定ニ依リテ指定若クハ選任ヲ爲シ又ハ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五章 隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會

非訟事件手續法

民事非訟事件 隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件 二十三

ニ關スル事件

第九十條 隱居ノ許可ハ隱居ヲ爲サントスル戸主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

許トノ申請ニハ法定ノ推定家督相續人ヲ表示シ又ハ家督相續人タルヘキコトヲ承認シタル者ヲ表示シ且其者ヲシテ署名、捺印セシムヘシ
隱居ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第九十一條 廢家ノ許可ハ廢家セントスル戸主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

利害關係人及ヒ檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十二條 子ノ懲戒ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十三條 民法第九百七十八條ノ戸主權ノ行使ニ付キ必要ナル處分ハ第六十

六條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第九十四條 家督相續人ノ選定ニ關スル許可ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

第九十五條 親族及ヒ檢事ハ前條ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十六條 無能力者ノ爲メニ設ケヘキ親族會ニ關スル事件ハ其者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

非訟事件手續法

民事非訟事件 隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ無能力者ノ負擔トス

第九十七條 家督相續人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關スル事件ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

第九十八條 前二條ニ掲サルル事件ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關シテハ事件ノ本人ノ住所地ノ區裁判所ヲ以テ管轄裁判所トス

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ事件ノ本人ノ負擔トス

第九十九條 裁判所ハ親族會員又ハ其補缺員ノ選定ニ付キ申請人又ハ民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ヲシテ會員タルニ適當ナル者ヲ指名セシムルコトヲ得

第百條 親族會員タルコトヲ辭セントスル者ハ裁判所ニ其申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ相當スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第一百條 親族會ノ招集又ハ親族會員ノ辭任ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會員タルコトヲ得サル者ノ選任ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第一百二條 親族會員其他民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ裁判ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六章 相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

非訟事件手續法

民事非訟事件 相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件 二十七

第百三條 民法第千十七條第一項但書ニ定メタル期間ノ伸長ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第百四條 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第百五條 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ニハ第九條第一號、第二號、第四號及ヒ第五號ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シテ申述人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 被相續人ノ氏名及ヒ最後ノ住所

二 相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨

第百六條 期間ノ伸長ノ申請又ハ相續ノ限定承認若クハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第七章 遺言ノ確認及ヒ執行

第百七條 遺言執行者ノ選任及ヒ解任ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ニ於テ選任シタル遺言執行者カ其任務ヲ辭セントスルトキ又ハ其就職ヲ拒マントスルトキハ相續開始地ノ區裁判所ニ其申立ヲ爲スヘシ

裁判所カ前二項ニ掲ケタル事件ニ付キ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

第百八條 遺言執行者ヲ選任シタル裁判又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ムコトヲ許可シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

遺言執行者ノ選任若クハ解任ノ申請又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ム申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

遺言執行者ハ其解任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ遺言執行者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第百九條 民法第千七十六條及ヒ第千八十一條但書ニ定メタル遺言ノ確認ハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

非訟事件手續法 民事非訟事件、遺言ノ確認及ヒ執行 二十九

手續ノ費用ハ遺言者又ハ相續財産ノ負擔トス

第百十條 遺言ノ確認ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

利害關係人及ヒ檢事ハ遺言ノ確認ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ確認ノ申請人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

前條第二項ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ適用ス

第百十一條 遺言書ノ檢認ハ相續開始前ノ區裁判所ノ管轄トス

第百十二條 遺言書ノ檢認ハ公證人カ記載シタルモノヲ除ク外遺言ノ方式ニ關スル總テノ事實ヲ調査シテ之ヲ爲ス

第百十三條 封印アル遺言書ノ開封ニ付テハ豫メ其期日ヲ定メテ相續人ヲ呼出スヘシ

第百十四條 遺言書ノ提出、開封及ヒ檢認ニ付テハ調書ヲ作ルヘシ

調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

一 提出者ノ氏名、住所

二 提出、開封及ヒ檢認ノ年月日

三 立會人ノ氏名、住所

四 訊問シタル證人、鑑定人、相續人其他ノ利害關係人ノ氏名、住所及ヒ其

陳述

五 事實調査ノ結果

第百十五條 裁判所ハ遺言書ノ開封及ヒ檢認ヲ爲シタルトキハ出頭セザリシ相續人其他遺言ノ旨趣ニ關係アル者ニ其旨ヲ告知スヘシ

前項ニ掲ケタル者ハ裁判所ノ許可ヲ得テ前條ノ調書ヲ閱覽スルコトヲ得

第百十六條 遺言書ノ提出、開封並ニ檢認及ヒ其告知ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

第八章 法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記

非訟事件手續法

民事非訟事件 法人及ヒ夫婦財産 三十一
契約ノ登記

第十七條 法人ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所
ヲ以テ管轄登記所トス

第十八條 夫婦財産契約ノ登記ニ付テハ夫ト爲ルヘキ者ノ住所地ノ區裁判所
又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

夫ト爲ルヘキ者カ入夫又ハ婿養子ナルトキハ妻ト爲ルヘキ者ノ住所地ノ區裁
判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第十九條 各登記所ニ法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ヲ備フ

第二十條 法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ其認證
アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十一條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ハ登記ハ理
事、理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事
項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許
可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事カ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲
ス場合ニ於テハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第二十二條 法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ
清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十三條 夫婦財産契約ニ關スル登記ハ契約者雙方ノ申請ニ因リテ之ヲ爲
ス

申請書ニハ夫婦財産契約書又ハ管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ヲ許可シ
タル判決ノ謄本又ハ之ニ關スル契約書ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十四條 第一百七條、第二百二條乃至第二百四條ノ規定ハ日本ニ事務所
ヲ設ケタル外國法人ノ登記ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法 民事非訟事件 法人及ヒ夫婦財産 三十三
契約ノ登記

第二百五條 第四百十一條乃至第五十一條、第五百十四條乃至第五百十七條及七百七十七條ノ規定ハ本章ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第三編 商事非訟事件

第一章 會社及ヒ競賣ニ關スル事件

第二百六條 商法第四十七條、第四十八條、第一百一條第二項、第二百二十四條、第六十條第二項、第一百十六條第二項、第九十八條及ヒ商法施行法第九十五條第二項、第一百二條第二項、第一百十條第二項ニ定メタル事件ハ會社ノ本店所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス
商法第二百六十條ニ定メタル事件ハ閉鎖ヲ命セラルヘキ外國會社ノ支店ノ所在地ノ地方裁判所ノ管轄トス
商法第二百三十三條ニ定メタル事件ハ解散シタル株式會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

商法第二百八十九條第一項及ヒ第六百十條第一項ニ定メタル事件ハ競賣ニ付スヘキ物品所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第二百二十七條 検査役ノ選任ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス
申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ取締役又ハ株主之ニ署名、捺印スヘシ

- 一 申請ノ事由
- 二 検査ノ目的
- 三 年月日
- 四 裁判所ノ表示

第二百二十八條 検査役ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

裁判所ハ検査ニ付キ説明ヲ必要トスルトキハ検査役ヲ審訊スルコトヲ得

第二百二十九條 商法第二百二十四條第二項ノ規定ニ依ル裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前發起人及ヒ取締役ノ陳述ヲ聽クヘシ
非訟事件手續法 商事非訟事件 會社及ヒ競賣ニ關 三十五
スル事件

發起人及ヒ取締役ハ第一項ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條ノ二 商法第九十八條ノ規定ニ依リ検査役ノ選任ニ關スル裁判

ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽クヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百十條 商法第九十八條ノ検査ニ付キ株主總會ノ招集ヲ必要ト認ムルト

キハ裁判所ハ一定ノ期間内ニ其召集ヲ爲スヘキコトヲ命スヘシ

第三百十一條 商法第十一條第二項ノ規定ニ依リ検査ノ許可ヲ申請スル場合

ニ於テハ検査ヲ要スル事由、同法第六十條第二項ノ規定ニ依リ總會招集ノ

許可ヲ申請スル場合ニ於テハ取締役力其招集ヲ怠リシ事實ヲ疏明スルコトヲ

要ス

前項ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百十二條 前條ノ規定ニ依ル申請ニ付テハ裁判所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ

以テ裁判ヲ爲スヘシ

申請ヲ認許スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第三百十三條 商法第九十六條第二項ノ規定ニ依ル定款ノ認可ノ申請ハ開業

前ニ利息ノ配當ヲ爲スコトヲ要スル事由ヲ疏明シ總發起人又ハ總取締役之ヲ

爲スヘシ

前項ノ申請ニ對スル裁判ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用ス

第三百十四條 商法第四十七條、第四十八條及ヒ商法施行法第二百二條第二項

ノ場合ニ於ケル會社ノ解散ノ命令ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘ

シ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前利害關係人ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

前二項ノ規定ハ會社ノ申請ニ因リ開業期間ノ伸長ニ付キ裁判ヲ爲ス場合、商

法施行法ノ規定ニ依リ會社ノ營業ノ禁止ヲ命スル場合及ヒ日本ニ設立シタル

外國會社ノ支店ノ閉鎖ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス

第三百十五條 會社及ヒ檢事ハ前條ノ決定ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗

非訟事件手續法 商事非訟事件 會社及ヒ競賣ニ關 三十七

スル事件

告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

抗告裁判所カ會社ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ國庫ノ負擔トス

第三百三十五條ノ二 會社ノ解散若クハ營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖

ヲ命スル裁判カ確定シタルトキハ裁判所ハ解散シタル會社、營業ヲ禁止セラレタル會社ノ本店及ヒ支店又ハ閉鎖シタル外國會社ノ支店所在地ノ商業登記所ニ其登記ノ囑託ヲ爲スヘシ 抗告裁判所カ裁判ヲ爲シタルトキ亦同シ

登記所カ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ外國會社ニ付テハ其支店ノ登記ヲ抹消シ營業ヲ禁止セラレタル會社ニ付テハ其本店及ヒ支店ノ登記ニ其旨ヲ記載スヘシ

第三百三十五條ノ三 第二百二十六條第一項及ヒ前三條ノ規定ハ會社ニ非スシテ商業登記ヲ爲シタル者ニ對シ裁判所カ商法施行法ノ規定ニ依リテ營業ノ禁

止ヲ命スル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 會社ノ清算人ノ選任及ヒ解任

第三百三十六條 清算人ノ選任又ハ解任ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三百三十七條 清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三百三十八條 左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

- 一 未成年者
- 二 禁治產者及ヒ準禁治產者
- 三 剝奪公權者及ヒ停止公權者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破產者

非訟事件手續法 商事非訟事件 會社ノ清算人ノ選任及ヒ解任 三十九

第三章 商業登記

第一節 通則

第三百三十九條 商法ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス者ノ營業所所在地ノ區裁
判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第四百十條 各登記所ニ左ノ商業登記簿ヲ備フ

- 一 商號登記簿
- 二 未成年者登記簿
- 三 妻登記簿
- 四 後見人登記簿
- 五 支配人登記簿
- 六 合名會社登記簿
- 七 合資會社登記簿

八 株式會社登記簿

九 株式合資會社登記簿

十 外國會社登記簿

第四百十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

第四百十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付スルト
キハ之ニ其謄本若クハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分
ニ限り登記簿ノ附屬書類ノ閲覧ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘ
シ

第四百十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記
ナキコトノ證明ヲ爲スヘシ

第四百十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲
シ

非訟事件手續法 商事非訟事件 商業登記 通則 四十一

スコトヲ要ス

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ヒ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモ
ノト看做ス

四十二

第四百十五條

區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ
新聞紙ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ
選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第四百十六條

區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシ
ト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ揭
示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條

登記スヘキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別段ノ
定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十八條

當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發

見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條

登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 申請人ノ姓名、住所、會社カ申請人ナルトキハ其商號及ヒ本店又ハ支
店

二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其姓名、住所

三 登記ノ目的及ヒ事由

四 年月日

五 登記所ノ表示

第四百五十條

本章ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於テ正當ノ事
由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ其他ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコ
トヲ得

連署ヲ爲スコト能ハサル事由ハ之ヲ證明スルコトヲ要ス

非訟事件手續法

商事非訟事件

商業登記

通則

四十三

第五十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス
第五十二條 破産裁判所カ商業登記ヲ爲シタル者ニ對シ破産ヲ宣告シタルトキハ其營業所所在地ノ登記所ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス破産手續ノ停止、破産宣告ノ取消、破産手續ノ終結又ハ確定シタル協諧契約ノ認可アリタルトキ亦同シ

支拂猶豫カ無効ト爲リタル場合ニ於テハ之ヲ認可シタル裁判所、協諧契約ノ認可ヲ受ケタル破産者カ有罪破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ其協諧契約カ取消サレタル場合ニ於テハ受訴裁判所ハ前項ノ登記所ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第五十三條 登記所カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ破産者ノ商業登記ニ其通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス但其公告ヲ爲スコトヲ要

セス

第五十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第五十五條 司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

第五十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條及ヒ第二十四條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

第二節 商號ノ登記

第五十八條 商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條 商法施行法第十三條第一項ノ規定ニ依リ他人カ登記シタル商號
非訟事件手續法 商事非訟事件 商業登記 商號ノ 四十五
登記

ト同一ノ商號ノ登記ヲ申請スル者ハ舊商法施行前ヨリ之ヲ使用スルコトヲ證明スルコトヲ要ス

第六十條 商號ノ登記ノ申請書ニハ第四百九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外營業ノ種類ヲ記載スヘシ商號ノ變更ノ登記ヲ申請スルトキ亦同シ

第六十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ承繼人カ商號ヲ續用セントスルトキハ其資格ヲ證スル書面又ハ讓受證書ヲ添ヘ其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス
商號ノ登記ヲ爲シタル者カ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク其登記ヲ申請スヘシ

第六十二條 商號ヲ廢止シ又ハ變更シタルトキハ當事者ハ其登記ヲ申請スヘシ
相續人又ハ法定代理人カ前項ノ申請ヲ爲ストキハ申請書ニ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十三條 商法第二十四條第一項ノ規定ハ本條第一項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第六十四條 前條ノ申請アリタルトキハ登記所ハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ其旨ヲ告知シ且一個月ヨリ長カラサル期間ヲ定メ異議アラハ其期間内ニ之ヲ申立ツヘキ旨ヲ催告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ告知及ヒ催告ヲ受クヘキ者又ハ其居所方知レサルトキハ告知及ヒ催告ハ登記ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
登記所ハ右ノ外相當ト認ムル他ノ新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

第六十五條 前條ノ規定ニ從ヒテ異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ
前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第二節 未成年者、妻及ヒ後見人ノ登記

非訟事件手續法

商事非訟事件 商業登記、未成年者、妻及ヒ後見人ノ登記 四十七

第六十六條 未成年者カ商業ヲ營ム場合ニ於テ其登記ヲ申請スルニハ申請書ニ營業ノ種類ヲ記載シ法定代理人ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但法定代理人カ之ニ連署スルトキハ此限ニ在ラス
親權ヲ行フ母又ハ後見人カ同意ヲ爲シタル場合ニ於テハ親族會ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ併セテ添附スルコトヲ要ス繼父、繼母又ハ嫡母カ同意ヲ爲シタルトキ亦同シ

第六十七條 妻カ商業ヲ營ム場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ營業ノ種類ヲ記載シ夫ノ許可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但夫カ之ニ連署スルトキハ此限ニ在ラス
夫カ未成年者ナルトキハ前項ノ許可ヲ爲フニ付キ必要ナル同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ併セテ添附スルコトヲ要ス
妻カ夫ノ許可ヲ得ルコトヲ要セサル場合ニ於テ營業ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十八條 商業ヲ營ムコトノ許可ヲ爲シタル者カ之ヲ取消シ又ハ之ヲ制限シタルトキハ遲滯ナク其登記ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

第六十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條 前條ノ規定ニ從ヒテ制限ノ登記ノ申請アリタルトキハ登記所ハ原登記ニ其旨ヲ記載スヘシ

第七十條 法定財産制ニ異ナリタル契約ノ登記ヲ爲シタル妻カ商業ノ登記ヲ申請スルトキ又ハ其商業ノ登記ヲ爲シタル後管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ノ登記ヲ爲シタルトキハ書面ヲ以テ登記所ニ其届出ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ届出アリタルトキハ登記所ハ當事者ノ商業登記ニ之ヲ記載スヘシ
第七十一條 後見人カ被後見人ノ爲メ商業ヲ營ム場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ親族會ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四節 支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記

非訟事件手續法

商事非訟事件 商業登記、支配人 四十九
及ヒ會社ノ清算人ノ登記

第七十二條 支配人ノ選任ノ登記ハ主人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

會社カ申請人ナルトキハ左ニ掲ケタル者ノ申請ニ因リテ前項ノ登記ヲ爲スヘシ

一 合名會社ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ社員

二 株式會社ニ於テハ取締役

三 合資會社若クハ株式合資會社ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員

第七十三條 支配人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ第四百十九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 支配人ノ氏名、住所

二 申請人カ數個ノ商號ヲ以テ數種ノ商業ヲ營ムトキハ支配人カ代理スヘキ商業及ヒ其用ユヘキ商號

三 支配人ヲ置キタル場所

會社カ申請人ナル場合ニ於テハ申請書ニ其設立ノ登記ノ年月日ヲ記載シ且之

ニ支配人ノ選任ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十四條 第七十二條ノ規定ハ支配人ノ代理權ノ消滅又ハ解任ノ登記ヲ

申請スル場合ニ之ヲ準用ス

會社カ支配人ノ解任ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其解任ヲ證スル

書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄ト

ス

前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

第七十六條 清算人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ其選任ヲ證スル書面ヲ添附ス

ルコトヲ要ス

第七十七條 清算人ノ解任又ハ變更ノ登記ハ現任清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ

爲ス

申請書ニハ清算人ノ解任又ハ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

非訟事件手續法

商事非訟事件 商業登記、支配人 五十一
及ヒ會社ノ清算ノ登記

第七十八條 清算ノ終了ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ清算人カ其計算ノ承認ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五節 合名會社及ヒ合資會社ノ登記

第七十九條 合名會社ノ設立ノ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款ヲ添附シ且社員中ニ未成年者又ハ妻アルトキハ其社員タルコトニ同意ヲ爲スヘキ者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第八十條 合名會社ノ支店ノ設立、其本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ申請書ニハ其登記事項ニ付キ總社員ノ同意又ハ或社員ノ一致ヲ要スル場合ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ社員ノ定アルトキニ限り總社員ノ同意又ハ或社員ノ一致アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

商法第八十三條但書ノ規定ニ依リ裁判所カ或社員ヲ除名シタル場合ニ於ケル

變更ノ登記ノ申請書ニハ其判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

社員ノ氏、名若クハ住所ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第八十一條 合名會社ノ解散ノ登記ハ總社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且相續人カ申請ヲ爲ストキハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタル場合ニ於テハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第八十二條 合名會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散スヘキ會社ノ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ商法第七十八條第二項ニ依ル公告及ヒ催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコ

非訟事件手續法 商事非訟事件 商業登記、合名會社及ヒ合資會社ノ登記 五十三

トテ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十三條 第百七十九條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ニ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條 合名會社カ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ各社員ノ申請ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ判決ニ因リ會社ノ設立カ取消サレタル場合ニ於ケル登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第百八十五條 合名會社ニ於テ總社員ノ申請ニ因リテ爲スヘキ登記ハ合資會社

ニ於テハ其無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

無限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於ケル解散ノ登記ハ無限責任社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第百八十六條 第百七十九條第二項及ヒ第百八十條乃至第百八十四條ノ規定ハ

合資會社ノ登記ニ之ヲ準用ス

第六節 株式會社ノ登記

第百八十七條 株式會社ノ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 定款

二 株主名簿

三 發起人カ株式ノ總數ヲ引受ケタル場合ニ於テハ各發起人ノ引受ケタル

株式ノ員數ヲ記載シタル書面、株主ヲ募集シタル場合ニ於テハ各株主ノ

株式申込證

四 取締役及ヒ監査役又ハ檢査役カ商法第百三十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シ

タル調査報告書及ヒ其附屬書類

非訟事件手續法

商事非訟事件
社ノ登記

商業登記

株式會

五十五

五 検査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其謄本

六 發起人カ取締役及ヒ検査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

七 開業前ニ利息ノ配當ヲ爲スヘキ定款ノ定アルトキハ之ヲ認可シタル裁

判ノ謄本

八 會社ノ事業ノ目的カ官廳ノ免許ヲ受クヘキモノナルトキハ其免許書又

ハ其認證アル謄本

九 創立總會ノ決議錄

第百八十八條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ總取締役ノ

申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ登記事項ニ付キ裁判所ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其裁判ノ謄

本、株主總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

取締役又ハ検査役ノ氏、名又ハ住所ノ變更ノ登記ハ取締役ノ申請ニ因リテ之

ヲ爲スヘシ

第百八十九條 會社ノ資本増加ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ

要ス

一 株金全額ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面

二 新株主ノ株式申込證及ヒ新株主名簿

三 商法第二百十四條ノ規定ニ從ヒテ検査役又ハ検査役カ爲シタル調査報

告書及ヒ其附屬書類

四 資本ノ増加ニ關スル株主總會ノ決議錄

第百九十條 會社ノ資本減少ノ登記ノ申請書ニハ之ニ關スル株主總會ノ決議錄

ヲ添附スルコトヲ要ス

第百九十二條第二項ノ規定ハ資本減少ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十一條 社債ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 最終ノ貸借對照表

二 社債ノ募集ノ公告ヲ爲シタルコトヲ證スル書面

非訟事件手續法 商事非訟事件、商業登記、株式會 五十七

社ノ登記

三 各社債ニ付キ全額ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面

四 社債原簿

五 社債ノ募集ニ關スル株主總會ノ決議錄

第九十二條 會社カ社債ノ全部又ハ一部ヲ償還シタルトキハ取締役ハ遲滯ナク其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ償還シタル金額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第九十三條 會社ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

第九十二條第二項ノ規定ハ株式會社カ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
會社カ裁判所ノ命令ニ因リ解散シタルトキハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ其登記ヲ爲スヘシ

第九十四條 保險會社カ合併ニ因ル設立若クハ變更又ハ解散ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ主務官廳ノ認許書又ハ其認書アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス
會社カ株主總會ノ決議ニ因リ解散ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ申請スルトキ亦同シ

第九十四條ノ二 舊商法ノ規定ニ依リテ設立シタル株式會社カ商法施行法第五十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 定款

二 株主名簿

三 各株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面

四 設立免許書

五 創業總會ノ決議錄

第八十七條第一項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條ノ三 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ増加シタル場合ニ於テ會社カ商非訟事件手續法 商事非訟事件、商業登記、株式會 五十九
社ノ登記

法施行法第八十五條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 株主名簿

二 新株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面

三 資本ノ増加ニ關スル株主總會ノ決議錄及ヒ假決議錄

第百九十四條ノ四 舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ減少シタル場合ニ於テ會社カ資本減少ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 舊商法第二百七條ニ依ル通知及ヒ催告ヲ爲シタルコト及ヒ異議ヲ申出

テタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

二 資本ノ減少ニ關スル株主總會ノ決議錄及ヒ假決議錄

第百九十四條ノ五 舊法ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第七十九條及ヒ第八十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一 株金ノ拂込金額ヲ證スル書面

二 債券原簿

三 主務省ノ認許書又ハ其認證アル謄本

四 債券ノ發行ニ關スル株主總會ノ決議錄

第百九十五條 第百八十七條第一項ノ規定ハ會社ノ資本ノ増加若クハ減少又ハ社債ノ登記及ヒ會社ノ解散又ハ會社ノ合併ニ因ル變更若クハ設立又ハ解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七節 株式合資會社ノ登記

第百九十六條 株式合資會社ノ設立ノ登記ハ無限責任社員ノ全員及ヒ總監查役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百七十九條第二項及ヒ第百八十七條第二項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

非訟事件手續法

商事非訟事件、商業登記、株式合資 六十一
會社ノ登記

第九十七條 支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ヲ代表

スヘキ無限責任社員ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ申請書ニハ株主總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄ヲ添附スル

コトヲ要スル外第九十八條第二項ノ規定ヲ準用ス

無限責任社員又ハ監査役ノ氏、名若クハ住所ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘ

キ無限責任社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘシ

第九十八條 第九十九條乃至第一百零一條及ヒ第一百零六條第一項ノ規定

ハ資本ノ増加若クハ減少又ハ社債ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十九條 第一百零六條第一項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ

登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百條 株式合資會社ノ解散ノ登記ハ無限責任社員ノ全員又ハ其相續人及ヒ

總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但無限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ

於ケル解散ノ登記ハ無限責任社員又ハ其相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スヘ

シ

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附シ且無限責任社員ノ同意及ヒ株主

總會ノ決議ニ因リ又ハ會社ノ合併ニ因リテ解散シタルトキハ之ニ關スル株主

總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

第一百八十二條第二項ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合

ニ之ヲ準用ス

會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ裁判所ノ囑託ニ因リ

テ其登記ヲ爲スヘシ

第二百一條 株式合資會社ノ組織ヲ變更シ株式會社ト爲シタル場合ニ於ケル設

立ノ登記ハ設立シタル株式會社ノ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ

爲ス

申請書ニハ會社ノ組織ノ變更ニ關スル株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要

ス

非訟事件手續法

商事非訟事件、商業登記、株式合資 六十三
會社ノ登記

第一百八十二條第二項及ヒ第一百八十七條第二項ノ規定ハ本條第一項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
前三項ノ規定ハ商法第二百四十七條ノ規定ニ從ヒテ會社ヲ繼續スル場合ニ之ヲ準用ス

第八節 外國會社ノ登記

第二百二條 外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケタル場合ニ於テ其登記ヲ申請スルトキハ會社ノ代表者ハ申請書ニ支店ノ代表者ノ氏名、住所ヲ記載シ且左ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 本店ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面
 - 二 代表者タル資格ヲ證スル書面
 - 三 會社ノ定款又ハ會社ノ性質ヲ識別スルニ足ル書面
- 前項ノ書面ハ外國會社ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證ヲ受ケタ

ルモノナルコトヲ要ス

第二百三條 日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者ニ變更アリタルトキハ現任代表者ハ管轄登記所ニ其届出ヲ爲スヘシ
前條ノ規定ハ前項ノ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四條 外國會社ノ支店ノ廢止又ハ其登記事項ノ變更ノ登記ハ支店ノ代表者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者カ外國ニ於テ生シタル登記事項ノ變更ニ付キ其登記ヲ申請スル場合ニ於テハ會社ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證アル書面ニ依リテ變更ノ事實ヲ證明スルコトヲ要ス

第二百五條 削除

附則

第二百六條 民法第八十四條、第一千零七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法

非訟事件手續法 商事非訟事件、商業登記、外國會社 六十五
ノ登記

第十八條第二項、第二百六十一條、第二百六十二條、第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條、第九十五條第三項ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ
當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス
抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有ス

ル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第二百九條 非訟事件手續法其他従前ノ法令ニシテ本法ノ規定ト牴觸シ又ハ重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ裁判所カ申立ヲ受ケ又ハ著手シタル事件ハ舊法令ニ依ル

第二百九條ノ二 外國人ニ關スル非訟事件手續ニシテ條約ニ因リ特ニ定ムルコトヲ要スルモノハ司法大臣之ヲ定ム

第二百十條 本法ハ民法及ヒ商法ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

非訟事件手續法

商事非訟事件、商業登記、外國會社
ノ登記 六十七

此項法律ヲ手續去
前事非違未嘗
閣議等語
長岡會館
二十日
第二十八號
第二十九號
第三十號
第三十一號
第三十二號
第三十三號
第三十四號
第三十五號
第三十六號
第三十七號
第三十八號
第三十九號
第四十號
第四十一號
第四十二號
第四十三號
第四十四號
第四十五號
第四十六號
第四十七號
第四十八號
第四十九號
第五十號
第五十一號
第五十二號
第五十三號
第五十四號
第五十五號
第五十六號
第五十七號
第五十八號
第五十九號
第六十號
第六十一號
第六十二號
第六十三號
第六十四號
第六十五號
第六十六號
第六十七號
第六十八號
第六十九號
第七十號
第七十一號
第七十二號
第七十三號
第七十四號
第七十五號
第七十六號
第七十七號
第七十八號
第七十九號
第八十號
第八十一號
第八十二號
第八十三號
第八十四號
第八十五號
第八十六號
第八十七號
第八十八號
第八十九號
第九十號
第九十一號
第九十二號
第九十三號
第九十四號
第九十五號
第九十六號
第九十七號
第九十八號
第九十九號
第一百號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル戶籍法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年六月十五日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文
内務大臣 子爵 芳川顯正
司法大臣 曾禰荒助

法律第十二號

第八節	離婚	三十五丁
第九節	後見	三十六丁
第十節	隱居	三十八丁
第十一節	失踪	三十九丁
第十二節	死亡	四十丁
第十三節	家督相續	四十三丁
第十四節	推定家督相續人ノ廢除	四十五丁
第十五節	家督相續人ノ指定	四十六丁
第十六節	入籍、離籍及ヒ復籍拒絶	四十八丁
第十七節	廢家及ヒ絶家	五十一丁
第十八節	分家及ヒ廢絶家再興	五十二丁
第十九節	國籍ノ得喪	五十四丁
第二十節	氏名及ヒ族稱ノ變更	五十七丁

第二十一節	身分登記ノ變更	五十九丁
第五章	戶籍簿	六十丁
第六章	戶籍ノ記載手續	六十一丁
第七章	戶籍ニ關スル届出	六十八丁
第八章	抗告	七十一丁
第九章	罰則	七十三丁
附則		七十四丁

戸籍法

第一章 戸籍吏及ヒ戸籍役場

第一條 戸籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ戸籍吏之ヲ管掌シ戸籍役場ニ於テ之ヲ取扱フ

第二條 市町村長ヲ以テ戸籍吏トス但區ヲ置キタル市ニ於テハ區長ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第三條 戸籍吏又ハ之ト家ヲ同シクスル者ノ戸籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テハ市町村長又ハ區長ノ事務ヲ代理スヘキ者戸籍吏ノ職務ヲ行フ

戸籍吏又ハ之ト家ヲ同シクスル者ト前項ノ規定ニ依リ戸籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者又ハ之ト家ヲ同シクスル者トノ戸籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テハ市ニ在リテハ市參事會員ノ一人、町村又ハ區ニ在リテハ他ノ吏員ノ上席者戸籍吏ノ職務ヲ行フ

戸籍法 戸籍吏及ヒ戸籍役場

戸籍法 戸籍吏及ヒ戸籍役場
第一章 戸籍吏及ヒ戸籍役場
第一條 戸籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ戸籍吏之ヲ管掌シ戸籍役場ニ於テ之ヲ取扱フ
第二條 市町村長ヲ以テ戸籍吏トス但區ヲ置キタル市ニ於テハ區長ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
第三條 戸籍吏又ハ之ト家ヲ同シクスル者ノ戸籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テハ市町村長又ハ區長ノ事務ヲ代理スヘキ者戸籍吏ノ職務ヲ行フ
戸籍吏又ハ之ト家ヲ同シクスル者ト前項ノ規定ニ依リ戸籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者又ハ之ト家ヲ同シクスル者トノ戸籍又ハ身分登記ニ關スル事件ニ付テハ市ニ在リテハ市參事會員ノ一人、町村又ハ區ニ在リテハ他ノ吏員ノ上席者戸籍吏ノ職務ヲ行フ

第四條 戶籍役場ハ市役所又ハ町村役場ヲ以テ之ニ充ツ但區長ヲ以テ戶籍吏ニ充ツル場合ニ於テハ區役所ヲ以テ之ニ充ツ

第五條 戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事之ヲ監督ス

戶籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 戶籍吏カ其職務ノ執行ニ付キ届出入其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ戶籍吏ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠償スル責ニ任ス

第二章 身分登記簿

第七條 身分登記簿ハ本籍人身分登記簿及ヒ非本籍人身分登記簿ノ二種トシ各正副二本ヲ備フ

各種ノ登記簿ハ第四章第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事件ノ區別ニ從ヒ各別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

第八條 身分登記簿ハ一年毎ニ之ヲ編製ス

第九條 戶籍吏ハ豫メ翌年ノ身分登記簿ト爲スヘキ帳簿ヲ作り監督官ノ契印ヲ請フコトヲ要ス

監督官カ帳簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴目ニ契印シ表紙ノ裏面ニ其枚數ヲ記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シテ之ヲ戶籍吏ニ還付スルコトヲ要ス

第十條 身分登記簿ノ用紙カ不足ナルトキハ戶籍吏ハ更ニ帳簿ヲ作りテ契印ヲ請フコトヲ要ス

第十一條 身分登記簿ノ正本ハ永久ニ之ヲ戶籍役場ニ保存スルコトヲ要ス

登記ヲ終結シタル身分登記簿ノ副本ハ遲滯ナク之ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ納付スルコトヲ要ス

戶籍法 身分登記簿

地方裁判所ハ其納付ヲ受ケタル身分登記簿ノ副本ヲ永久ニ保存スルコトヲ要ス

第十二條 身分登記簿ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外之ヲ戶籍ハ場外ニ持出スコトヲ得ス但登記ヲ終結シタル登記簿ニ付キ裁判所又ハ豫審判事ノ命令アリタルトキハ此限ニ在ラス

第十三條 何人ト雖モ手数料ヲ納付シテ身分登記簿ノ閱覽又ハ登記ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戶籍吏之ヲ作り原本ト相違ナキ旨ヲ附記シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキハ戶籍吏之ヲ送付スルコトヲ要ス

戶籍吏カ閱覽又ハ交付ノ請求ヲ許ササル場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ告知スルコトヲ要ス

第十四條 身分登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ司法大臣ハ其旨ヲ告示シ且身分登記簿ノ再製又ハ補完ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ要ス

第三章 登記手續

第十五條 身分登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

- 一 戶籍吏カ身分ニ關スル届出ヲ受ケ又ハ其届書ノ送付ヲ受ケタルトキ
- 二 戶籍吏カ身分ニ關スル報告ヲ受ケタルトキ
- 三 戶籍吏カ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ受ケ又ハ其謄本ノ送付ヲ受ケタルトキ
- 四 戶籍吏カ身分ニ關スル事項ヲ記載シタル航海日誌ノ謄本ノ送付ヲ受ケタルトキ

- 五 戶籍吏カ登記ノ取消又ハ變更ノ申請若クハ請求ヲ受ケタルトキ
- 六 戶籍吏カ登記ヲ爲スヘキ旨ノ裁判ヲ受ケタルトキ

戶籍法 登記手續

第十六條 前條ニ掲ケタル場合ト雖モ届出、送付其他ノ手續カ本法ノ規定ニ依リタルモノニ非サレハ登記ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條 登記ハ法律ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外之ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第十八條 戶籍吏カ届出、報告其他登記ニ關スル書類ヲ受理シタルトキハ其書類ニ受附ノ番號及ヒ年月日ヲ記載シ遲滞ナク登記ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 登記ハ本籍人、非本籍人及ヒ登記ヲ爲スヘキ事件ノ區別ニ從ヒ相當ノ登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 被登記者ノ本籍カ届出其他ノ事由ニ因リ戶籍吏ノ管轄ニ歸シ又ハ其管轄ヲ離ルル場合ニ於テハ本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

一箇ノ登記ニシテ本籍人及ヒ非本籍人ニ關スルトキハ同時ニ本籍人身分登記簿及ヒ非本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲シ各登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

第二十一條 被登記者ノ本籍カ分明ナラサルトキハ非本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條 登記ニハ第四章ノ規定ニ依リ届出、報告、申請若クハ請求ヲ爲シ又ハ航海日誌ノ謄本ニ記載シタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

證書ノ謄本ニ依リテ爲ス登記ニハ其謄本ニ記載シタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

裁判ニ依リテ爲ス登記ニハ其裁判ヲ以テ命セラレタル登記事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十三條 登記ヲ爲スヘキ事實カ第四章第二節乃至第二十一節ニ掲ケタル届出事件ノ二箇以上ニ涉ルトキハ各別ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニハ各登記ニ付キ必要ナル事項ノミヲ記載シ各登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

第二十四條 登記取消ノ登記ハ取消ノ申請又ハ請求ノ目的タル登記ノ欄外ニ之

ヲ爲シ原登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十五條 登記變更ノ登記ハ其目的タル登記ノ欄外ニ之ヲ爲シ且其申請ノ基本タル裁判ノ趣旨ニ從ヒテ原登記ヲ變更スルコトヲ要ス

第二十六條 本籍分明ナラサル者ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨ノ届出又ハ報告アリタルトキハ原登記ノ欄外ニ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

本籍分明ト爲リタル者カ本籍人ナリシトキハ前項ノ規定ニ依ラス更ニ本籍人身分登記簿ニ登記ヲ爲シ其登記及ヒ前登記ノ欄外ニ交互參看ノ符號ヲ附記スルコトヲ要ス

前二項ノ登記ヲ爲シタル後其者ノ本籍ニ付キ更ニ届出又ハ報告アリタルトキハ届出又ハ報告アリタルコト及ヒ其年月日ヲ登記ノ欄外ニ記載スルヲ以テ足ル

第二十七條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失ノ届出ヲ爲ササリシトキハ戶

籍吏ハ戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ國籍喪失ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十八條 登記ニハ第二十二條ニ規定シタルモノノ外左ノ事項ニ記載スルコトヲ要ス

一 届出又ハ申請ノ受附ノ年月日但他ノ戶籍吏又ハ官廳ヨリ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ發送者ノ官職、氏名及ヒ發送ノ年月日ヲ併記スルコトヲ要ス

二 報告又ハ請求ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ報告者又ハ請求者ノ官職、氏名

三 證書又ハ航海日誌ノ謄本ノ發送及ヒ受附ノ年月日並ニ證書又ハ航海日誌ノ作製者及ヒ謄本發送者ノ官職、氏名

四 登記ヲ命シタル裁判ノ年月日及ヒ裁判所ノ名

第二十九條 登記ヲ爲スニハ畧字又ハ符號ヲ用井ス字畫明瞭ナルコトヲ要ス

戶籍法 登記手續

年月日時及ヒ年齢ヲ記スル數字ニハ一二三十ノ字ヲ用井スシテ壹貳參拾ノ字ヲ用ユルコトヲ要ス

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其數字ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ戶籍吏之ニ認印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ明カニ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第三十條 登記ハ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外日次ヲ逐ヒ事件受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲シ一事件毎ニ番號ヲ附シ用紙ニ空行ヲ存セス前後ノ登記ヲ接續セシムルコトヲ要ス

第三十一條 戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ其文末ニ認印スルコトヲ要ス

第三十二條 欄外登記ヲ爲スヘキ場合ニ於テ用紙ニ餘白ナキトキハ掛紙ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得此場合ニ於テハ戶籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 被登記者ノ本籍カ届出ニ因リテ戶籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戶籍吏ノ管

轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滯ナク届書ノ正本ヲ新管轄ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

被登記者ノ本籍カ他ノ戶籍吏ノ管轄ヨリ戶籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滯ナク届書ノ副本ヲ舊管轄ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十四條 被登記者ノ本籍カ届出ヲ受ケタル戶籍吏ノ管轄以外ニ於テ一ノ戶籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戶籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ニ於テハ其届出ヲ受ケタル戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滯ナク届書ノ正本ヲ新管轄ノ戶籍吏ニ送付シ其副本ノ一通ヲ舊管轄ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十五條 前二條ノ場合ヲ除ク外被登記者ノ本籍カ戶籍吏ノ管轄ニ屬セサルトキハ戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル後遲滯ナク届書ノ正本ヲ管轄戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

第三十六條 第三十三條及ヒ第三十四條ノ規定ハ届出以外ノ事由ニ因リ被登記

者ノ本籍カ移轉スル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ戶籍吏ハ其受附ケタル書面ノ謄本ヲ作り其謄本ヲ以テ届書ノ副本ニ代フルコトヲ要ス届出以外ノ事由ニ因リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ被登記者ノ本籍カ戶籍吏ノ管轄ニ屬セサルトキ亦同シ

第三十七條 登記ヲ爲シタルトキハ届書其他登記ニ關シテ受附ケタル書類ニ登記ノ番號及ヒ年月日ヲ記載シ登記簿ノ區別ニ從ヒ各別ニ之ヲ編綴シ且之ニ目錄ヲ附スルコトヲ要ス

第三十八條 前條ノ書類ハ一个月毎ニ遲滞ナク之ヲ監督區裁判所ニ送付シ監督區裁判所ハ之ヲ保存スルコトヲ要ス
書類ヲ保存スヘキ期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第三十九條 戶籍吏ハ登記ヲ爲シタル毎ニ登記ヲ爲スト同一ノ手續ニ依リ遲滞ナク其全文ヲ登記簿ノ副本ニ謄寫スルコトヲ要ス
登記簿ノ副本ヲ地方裁判所ニ送付シタル後欄外登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ

戶籍吏ハ遲滞ナク其登記ノ謄本ヲ作り職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ之ヲ地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

地方裁判所長ハ前項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル登記ノ謄本ヲ登記簿ノ副本ニ相當登記ノ欄外ニ貼付シ職印ヲ以テ謄本ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第四十條 登記ヲ爲シタル後其登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ戶籍吏ハ遲滞ナク之ヲ届出人又ハ登記事件ノ本人ニ通知スルコトヲ要ス

第四十一條 戶籍吏ハ毎年末ニ於テ最終登記ノ次行ニ終結ノ旨ヲ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺スルコトヲ要ス
前項ノ規定ハ最終登記ヲ爲ス前登記簿ノ用紙ヲ用井盡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四章 身分ニ關スル届出

戶籍法 身分ニ關スル届出、通則

第一節 通則

第四十二條 身分ニ關スル届出ハ其届出人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但其届出人カ本籍地外ニ在ル場合ニ於テハ其所在地ノ戸籍吏ニ届出ヲ爲スコトヲ得

届出入カ本籍ヲ有セサルトキハ其届出ニ關シテハ所在地ヲ以テ本籍地ト看做ス

第四十三條 届出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス但正當ノ事由アルトキハ届出人ハ戸籍吏ニ其理由ヲ陳述シ口頭ニテ届出ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

- 一 届出事件
- 二 届出ノ年月日
- 三 届出入ノ族稱、職業、出生ノ年月日及ヒ本籍地

第四十五條 届出入ト届出事件ノ本人ト異ナルトキハ届書ニ其間ノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

届出人カ家族ナルトキハ届書ニ戸主ノ氏名及ヒ届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十六條 届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス

前項ノ場合ニ於テ届出入ハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日及ヒ本籍地
- 二 無能力ノ原因
- 三 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコト

第四十七條 前條ノ規定ハ無能力者カ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ノ届出ニハ之ヲ適用セス

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出人カ届出事件ノ性質及ヒ效果

戸籍法 身分ニ關スル届出、通則

ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ醫師ノ診新書ヲ添
フルコトヲ要ス

第四十八條 證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届書ニ其證人タルコト出
生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載シテ署名、捺印スルコトヲ要ス

第四十九條 届出人、届出事件ノ本人又ハ届出ノ證人カ本籍地外ニ在ルトキハ
届書ニ其所在他ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十條 本法ノ規定ニ依リ届書ニ記載スヘキ事項中其事實ノ存セサルモノ又
ハ知レサルモノアルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス但户籍吏ハ各届出事件
ニ付キ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セル届書ヲ受理スルコトヲ得ス

第五十一條 届書ニハ本法其他ノ法令ニ定メタル事項ニ非サレハ之ヲ記載スル
コトヲ得ス

第五十二條 第二十九條ノ規定ハ届書ノ記載ニ之ヲ準用ス

第五十三條 本籍地ノ户籍吏ノ管轄地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ届書ハ正副二

本ヲ作ルコトヲ要ス

届出ニ因リ一人又ハ數人ノ本籍カ一ノ家ヨリ他ノ家ニ移轉スル場合ニ於テ兩
家ノ本籍地カ户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ届書ハ正副二本ヲ作り届出地ト
兩家ノ本籍地トカ各户籍吏ノ管轄ヲ異ニスルトキハ正本一通副本二通ヲ作ル
コトヲ要ス

第五十四條 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ户籍吏ノ面前ニ出頭シ其届出
事件ヲ陳述シ户籍吏ハ直チニ其口述竝ニ届出ノ年月日、届出人ノ氏名、出生ノ
年月日、職業及ヒ本籍地ヲ筆記シ之ヲ届出人ニ讀聞カセ且届出人ヲシテ之ニ
署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第五十五條 前條ノ規定ニ依リテ户籍吏カ作ルヘキ書面ニハ届書ニ關スル規定
ヲ準用ス

第五十六條 第四十三條、第五十四條及ヒ前條ノ規定ハ届出事件ニ關スル同意、
承諾又ハ承認ノ證明ニ之ヲ準用ス

户籍法 身分ニ關スル届出、通則

第五十七條 本法ニ別段ノ規定アル場合ノ外法令ノ規定ニ依リ届出事件ニ付キ官廳ノ許可ヲ要スルトキハ届出人ハ届書ニ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第五十八條 届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ自ラ戸籍吏ノ面前ニ出頭スルコト能ハサルトキハ代理人ヲ差出タスコトヲ得

第五十九條 外國ニ在ル日本人ハ本法ノ規定ニ從ヒ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ届出ヲ爲スコトヲ得

第六十條 外國ニ在ル日本人カ其國ノ法式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタルトキハ三ヶ月内ニ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ差出タスコトヲ要ス

日本ノ公使又ハ領事カ其國ニ駐在セサルトキハ本人歸國ノ後一个月内ニ本籍地ノ戸籍吏ニ證書ノ謄本ヲ差出タスコトヲ要ス

第六十一條 前二條ノ規定ニ依リテ公使又ハ領事カ受取りタル届書又ハ證書ノ

謄本ハ其公使又ハ領事ヨリ三ヶ月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ本人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第六十二條 本法ニ定メタル届出期間ハ届出事件ノ發生シタル日ヨリ之ヲ起算ス

裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ届出義務者カ裁判ノ送達又ハ交付ヲ受クル前裁判カ確定シタルトキハ其送達又ハ交附ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十三條 本法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スヘキ届出ヲ怠リタル爲メ過料ニ處セラレタル者アルトキハ裁判所ハ遲滞ナク其者カ届出ヲ爲スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス但戸籍吏ヨリ既ニ届出ヲ受理シタル旨ノ通知アリタル場合ハ此限ニ在ラス

戸籍吏カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ届出義務者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

戸籍法 身分ニ關スル届出、通則

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ戶籍吏ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ要ス爾後届出義務者カ戶籍吏ノ催告ニ應セサルトサ亦同シ

第六十四條 戶籍吏カ其管轄内ニ本法ノ規定ニ違反シテ届出ヲ爲ササル者アルコトヲ知りタルトキハ遲滯ナク之ヲ其事件ノ管轄裁判所ニ通知スルコトヲ要ス

第六十五條 届出期間ヲ經過シタル後ニ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ戶籍吏ハ其届出ヲ受理スルコトヲ要ス

第六十六條 届出人ハ手数料ヲ納付シテ届出受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得

第六十七條 届出ニ關スル規定ハ登記ノ取消又ハ變更ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二節 出生

第六十八條 子ノ出生アリタルトキハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 子ノ名及ヒ男女ノ別
- 二 子カ私生子ナルトキ又ハ出生前ニ認知セラレタル爲メ庶子ト爲リタル者ナルトキハ其旨

三 出生ノ年月日時及ヒ場所

四 父母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地但私生子ノ届出ニ付テハ母ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地ノミヲ記載スルコトヲ要ス

五 出生子ノ入ルヘキ家ノ戶主ノ氏名、族稱、職業及ヒ本籍地

六 出生子カ一家ヲ創立スル者ナルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因

七 國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨

第六十九條 嫡出子出生ノ届出ハ出生地又ハ父母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

戶籍法 身分ニ關スル届出、出生

庶子出生ノ届出ハ出生地又ハ父ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但庶子カ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル場合ハ此限ニ在ラス

私生子又ハ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル庶子ノ出生ノ届出ハ出生地又ハ母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十條 汽車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル場合ニ於テハ其届出ニ付テハ到着地ヲ以テ出生地ト看做ス

第七十一條 嫡出子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合及ヒ民法第七百三十四條第一項、第二項但書ノ場合ニ於テハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ニ掲ケタル者ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

第一 戸主

第二 同居者

第三 分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四 分娩ヲ介抱シタル者

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

第七十二條 夫ハ妻ノ子ノ嫡出ナルコトヲ否認セントスル場合ト雖モ前條第一項ノ規定ニ依リ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十三條 民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ出生子ノ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ其届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

父カ裁判ニ依リテ定マリタルトキハ其父ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲シ且第一項ノ届出ニ依リテ爲シタル登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

戸籍法 身分ニ關スル届出、出生

第七十四條 病院、監獄其他ノ公設所ニ於テ子ノ出生アリタル場合ニ於テ父又ハ母ヨリ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ病院、監獄又ハ其他ノ公設所ノ長若クハ管理人ヨリ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十五條 棄兒ヲ發見シタル者ハ二十四時内ニ其旨ヲ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

棄兒發見ノ届出アリタルトキハ戶籍吏ハ其兒ニ氏名ヲ命シ且之ニ附屬スル衣服、物品、發見ノ場所、年月日時其他ノ景況竝ニ其兒ノ出生ノ推定年月、氏名、男女ノ別、引受人ノ氏名、職業、本籍地及ヒ所在地又ハ育兒院ノ稱號竝ニ場所及ヒ引渡ノ年月日ヲ調書ニ記載シテ之ヲ届書ニ添ヘ置クコトヲ要ス

引受人又ハ育兒院ニ變換アリタルトキハ雙方ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第二項ノ調書ハ登記ニ付テハ之ヲ届書ト看做ス

第七十六條 棄兒ノ父又ハ母カ現出シテ其兒ヲ引取ルトキハ一个月内ニ第六十

八條ノ届出ヲ爲シ且棄兒發見ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第七十七條 出生又ハ棄兒發見ノ届出ヲ爲ササル前出生子又ハ棄兒カ死亡シタルトキハ出生又ハ棄兒發見及ヒ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十八條 航海中ニ子ノ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船者中ヨリ選ミタル證人ノ前ニ於テ第六十八條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證人ト共ニ署名、捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ其出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナク其出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三個月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ父母ノ本籍地ノ戶籍法 身分ニ關スル届出、出生

第三節 嫡出子否認

第七十九條 嫡出子否認ノ裁判カ確定シタルトキハ否認者ハ裁判確定ノ日より
一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ贈本ヲ添ヘテ之ヲ届出テ且既ニ出生ノ登記
ヲ爲シタル者ニ付テハ登記ノ變更ヲ申請スルコトヲ要ス

- 一 子ノ名及ヒ男女ノ別
- 二 出生ノ年月日
- 三 否認ノ裁判ヲ確定シタル年月日

第四節 私生子認知

第八十條 私生子認知ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 子ノ名及ヒ男女ノ別

二 出生ノ年月日

三 死亡シタル子ヲ認知スル場合ニ於テハ死亡ノ年月日

四 父カ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

前項第四號ノ場合ニ於テ母カ家族ナルトキハ其戸主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ
其戸主ト母トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十一條 民法第八百三十一條第一項ノ規定ニ依リテ認知ヲ爲ス場合ニ於テ
ハ認知者ハ母ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ具シテ其胎内ニ在ル子ヲ認知スル旨
ヲ届出ツルコトヲ要ス

第八十二條 民法第八百三十條及ヒ第八百三十一條ノ規定ニ依リ子、母又ハ直
系卑屬ノ承諾ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ承諾ノ證書ヲ添ヘ又ハ承
諾ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ承諾ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコト
ヲ要ス

第八十三條 遺言ニ依リテ認知ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言カ效

戸籍法 身分ニ關スル届出、嫡出子否認、
私生子認知

力ヲ生シタル日ヨリ十日内ニ其認知ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添へ前三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

遺言ニ依ル認知ノ届書ニハ認知者ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十四條 胎内ニテ認知セラレタル子カ死體ニテ分娩シタルトキハ出生届出義務者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ認知ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス但遺言執行者カ認知ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ヨリ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第五節 養子縁組

第八十五條 縁組ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

養子カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ縁組ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外婚家ノ戸主又ハ前養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十六條 民法第四百四十三條ノ規定ニ依リテ縁組ノ承諾ヲ爲シタル者ハ養子ニ代ハリテ縁組ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第八十七條 民法第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項、第八百四十一條第二項及ヒ第八百四十三條乃至第八百四十六條ノ規定ニ依リ戸主、父母、配偶者、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添へ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第八十八條 民法第八百四十二條ノ規定ニ依リ配偶者ノ一方カ雙方ノ名義ヲ以テ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十九條 民法第八百四十八條ノ規定ニ依リ縁組ノ届出ヲ爲ストキハ届書ニ戸籍法 身分ニ關スル届出、養子縁組

第八十五條ニ掲ケタル諸件及ヒ遺言者ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ養子ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第九十條 縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十一條 縁組カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第九十二條 縁組ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第九十三條 第八十五條及ヒ第八十七條乃至第八十九條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條 第五十八條ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節 養子離縁

第九十五條 離縁ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 二 養子ノ實父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 四 縁組ノ年月日
- 五 離縁カ協議又ハ裁判ニ因ルコト
- 六 養子ノ妻カ養子ト共ニ養家ヲ去ルトキハ其旨及ヒ妻ノ名
- 七 養子カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 八 養子カ復籍スヘキ家ナキトキハ其事由

第九十六條 民法第八百六十二條第二項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養親及ヒ養子ニ代ハリテ協議ヲ爲シタル者ヨリ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第九十七條 民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養子ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル

戸籍法 身分ニ關スル届出、養子離縁

第九十八條 民法第八百六十二條第三項及八百六十三條ノ規定ニ依リ戸主、父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第九十九條 離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一百條 第九十五條及八百九十八條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一百一條 第五十八條ノ規定ハ離縁ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第七節 婚姻

第一百二條 婚姻ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍地

二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

三 當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

四 入夫婚姻又ハ増養子縁組ナルトキハ其旨

五 入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫カ戸主ト爲ラサルトキハ其旨

六 婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子アルトキハ其名及ヒ出生ノ年月日

當事者ノ一方ガ婚家又ハ養家ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外前婚家ノ戸主又ハ養親ノ氏名、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百三條 民法第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項、第七百七十二條及七百七十三條ノ規定ニ依リ戸主、父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

戶籍法 身分ニ關スル届出、婚姻

第百四條 婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
但入夫婚姻及ヒ婿養子縁組ナルトキハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ其届出ヲ
爲スコトヲ要ス

第百五條 婚姻カ無効ナルトキハ届出人ハ其無効ナル事由ノ證明書ヲ提出シテ
登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第百六條 婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者
ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スル
コトヲ要ス

檢事カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ從ヒ檢事ヨリ登記ノ取消ヲ
請求スルコトヲ要ス

第百七條 第百二條及ヒ第百三條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準
用ス

第百八條 第五十八條ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八節 離婚

第百九條 離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 二 父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 四 婚姻ノ年月日
- 五 離婚カ協議又ハ裁判ニ因ルコト
- 六 當事者カ復籍スヘキ家ノ戶主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 七 當事者カ復籍スヘキ家ナキトキハ其事由

第百十條 民法第八百九條ノ規定ニ依リ父母、後見人又ハ親族會ノ同意ヲ要ス
ル場合ニ於テハ届出入ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシ
テ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

戶籍法 身分ニ關スル届出、離婚

第一百一十一條 離婚ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一百一十二條 第九條及ヒ第九十條ノ規定ハ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第一百一十三條 第五十八條ノ規定ハ離婚ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九節 後見

第一百四十四條 後見ノ開始アリタルトキハ後見人ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ住所
- 二 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 三 被後見人カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地
- 四 後見開始ノ原因及ヒ年月日

五 後見人就職ノ年月日

第一百五十五條 後見人ノ更迭アリタルトキハ後任ノ後見人ハ其就職ノ日ヨリ十日内ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ前任者ノ氏名ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

第一百十六條 後見人カ遺言ヲ以テ指定セラレタル者ナルトキハ届書ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

後見人カ親族會ニ於テ選任セラレタル者ナルトキハ届書ニ其選任ニ關スル證明書ヲ添フルコトヲ要ス

第一百十七條 後見人ノ任務カ終了シタルトキハ後見人ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 被後見人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 二 就職ノ年月日
 - 三 任務終了ノ原因及ヒ年月日
- 戶籍法 身分ニ關スル届出、後見

後見人ノ任務カ其死亡ニ因リテ終了シタルトキハ前項ノ届出ハ後見監督人ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十八條 後見ニ關スル届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十節 隠居

第百十九條 隠居ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 隠居者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 家督相續人ノ名、出生ノ年月日、職業及ヒ家督相續人ト隠居者トノ續柄

三 隠居ノ原因

第百二十條 裁判所ノ許可ヲ得テ隠居ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ裁判ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百二十一條 隠居ノ届出人ハ届書ニ家督相續人ノ承認ノ證書ヲ添ヘ又ハ承認ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ其旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
前項ノ規定ハ民法第七百五十五條第二項ノ規定ニ依リ夫ノ同意ヲ要スル場合ノ届出ニ之ヲ準用ス

第百二十二條 隠居ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
第百六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一節 失踪

第百二十三條 失踪ノ宣告アリタルトキハ其宣告ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

戸籍法 身分ニ關スル届出、隠居、失踪

- 一 失踪者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 二 失踪ノ宣告アリタル年月日
 - 三 失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及ヒ戸主ト失踪者トノ續柄
- 第二百二十四條 失踪ノ宣告ノ取消アリタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二節 死亡

- 第二百二十五條 死亡者アリタルトキハ届出義務者カ其死亡ヲ知リタル日ヨリ五日内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書若クハ檢査書又ハ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス
- 一 死亡者ノ氏名、出生ノ年月日、男女ノ別及ヒ本籍地
 - 二 死亡ノ年月日時及ヒ場所

三 死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族籍及ヒ戸主ト死亡トノ續柄
前項ノ届出期間ハ衛生ノ爲メ特別ノ必要アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第二百二十六條 左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ

第一 戸主

第二 同居者

第三 家主、地主又ハ土地若クハ家屋ノ管理人

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル
第二百二十七條 死亡ノ届出ハ死亡地又ハ死亡者ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十八條 第七十條及ヒ第七十四條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ之ヲ準用ス
第二百二十九條 死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遲滞ナク第二百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ監獄所在地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

戸籍法 身分ニ關スル届出、死亡

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者アリテ死體ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス
此場合ニ於テハ報告書ニ醫師ノ診斷書又ハ檢案書ヲ添フルコトヲ要ス
第三百十條 航海中ニ死亡者アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船
者中ヨリ選ミタル證人ノ前ニ於テ第二百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ
記載シ證人ト共ニ署名捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載
スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二
十四時内ニ死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戶籍吏ニ送付スルコトヲ要
ス

艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナク死亡ニ關スル航海
日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送付シ公使又ハ領事ハ三
個月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ死亡者ノ本籍地ノ戶
籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第三百十一條 艦船ノ難破ニ因リテ乗組員及ヒ乗客ノ全部又ハ一部カ死亡シタ
ルトキハ其難破ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ
死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第三百十二條 死亡者ノ本籍分明ナラス且其何人タルコトヲ認識スルコト能ハ
サルトキハ警察官ハ檢視調書ヲ作り遲滞ナク之ヲ其地ノ戶籍吏ニ報告スルコ
トヲ要ス
死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ其何人タルコトヲ認識スルコトヲ得ルニ至
リタルトキハ警察官ハ遲滞ナク前ニ報告ヲ受ケタル戶籍吏ニ之ヲ報告スルコ
トヲ要ス

第三百二十六條第一項第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル死亡届出義務者カ前項ノ事
實ヲ知リタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ醫
師ノ診斷書又ハ檢案書ニ代ヘ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添フルコトヲ得

第十三節 家督相續

戶籍法 身分ニ關スル届出、家督相續

第三百三十三條 家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ
一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ之ヲ被相續人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ
要ス

- 一 家督相續ノ原因及ヒ戸主ト爲リタル年月日
 - 二 前戸主ノ名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄
- 家督相續人カ外國ニ在ル場合ニ於テハ前項ノ届出ハ三个月内ニ届書ヲ發送ス
ルヲ以テ足ル

第三百三十四條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ相續權ヲ回復シタル者
ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ前條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘ
テ之ヲ届出テ且前ニ爲シタル家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第三百三十五條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ其母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ
知リタル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ
届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 相續開始ノ年月日
 - 二 家督相續人ノ胎兒ナルコト
 - 三 前戸主ノ名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄
- 第三百三十三條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス
- 第三百三十六條 胎兒ヲ家督相續人トシテ届出テタル場合ニ於テ其胎兒カ死體ニ
テ生レタルトキハ母ハ出産ノ日ヨリ一个月内ニ醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産
婆ノ檢案書ヲ提出シテ家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
母カ登記取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ
一个月内ニ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十四節 推定家督相續人ノ廢除

第三百三十七條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ被相續人ハ裁判
確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコト
戸籍法 身分ニ關スル届出、推定家督相續人ノ廢除 四十五

ヲ要ス

一 廢除セラレタル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

二 廢除ノ原因

三 廢除ノ裁判カ確定シタル年月日

第三百三十八條 被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スル意思ヲ表示シタル場合ニ於テ廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ前條ノ届出ハ遺言執行者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十九條 推定家督相續人廢除ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十五節 家督相續人ノ指定

第四百十條 家督相續人指定ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

一 指定家督相續人タルヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 法定ノ推定家督相續人ナキコト

第四百十一條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ家督相續人指定ノ届出ヲ爲ストキハ届書ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第四百十二條 家督相續人指定ノ取消ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

一 指定家督相續人ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 指定ノ年月日

第四百十三條 家督相續人指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス者ハ同時ニ家督相續人指定ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

戶籍法 身分ニ關スル届出、家督相續人ノ指定

第四百四十四條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ル外届書ニ被相続人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ指定ノ取消ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第四百四十五條 家督相續人ノ指定カ其效力ヲ失ヒタルトキハ指定ヲ爲シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ其效力ヲ失ヒタル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第十六節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶

第四百四十六條 民法第七百三十五條第一項若クハ第七百三十七條ノ規定ニ依リ他家ノ家族ト爲ラント欲スル者又ハ民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ婚家、養家又ハ自家ノ家族ト爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ入籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

- 二 入籍スヘキ家ノ戸主又ハ家族ト入籍スヘキ者トノ親族關係

- 三 入籍スヘキ者カ廢家シテ他家ニ入ルトキハ其旨

- 四 入籍スヘキ者カ家族ナルトキハ其去ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ其戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

第四百四十七條 民法第七百三十五條第一項、第七百三十七條及ヒ第七百三十八條ノ規定ニ依リ戸主、配偶者、養親、親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出入ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

第四百四十八條 戸主カ其家族ヲ離籍セント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 離籍セラルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 二 離籍ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日
- 三 離籍セラルヘキ者ト共ニ家ヲ去ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、月籍法、身分ニ關スル届出、入籍、離籍及ヒ復籍拒絶 四十九

日、職業及ヒ其者ト離籍セラルヘキ者トノ續柄

第四百九條 離籍ニ因リテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十

日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 離籍ヲ爲シタル戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 離籍ヲ爲シタル戸主ト届出人トノ續柄
- 三 離籍ノ原因及ヒ年月日
- 四 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

第四百五十條 戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

三 復籍拒絶ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日

第四百五十一條 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ニ因リテ復籍ヲ爲スコト能ハサル者カ一家ヲ創立シタルトキハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復籍ヲ拒ミタル戸主又ハ廢絶シタル家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ノ原因及ヒ年月日
- 三 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

第十七節 廢家及ヒ絶家

第四百五十二條 廢家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シ家督相續ニ因リテ戸

主ト爲リタル者ニ非サルコトノ證明書又ハ廢家ノ許可ニ關スル裁判ノ謄本ヲ

戸籍法 身分ニ關スル届出、廢家及ヒ絶家

添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 廢家シタル者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

- 二 廢家シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

第百五十三條 絶家ノ家族ニシテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨ

リ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ絶家及ヒ一家創立ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

- 二 絶家ノ原因及ヒ年月日

- 三 一家ヲ創立シタル者ニ隨ヒテ其家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職

業

第十八節 分家及ヒ廢絶家再興

第百五十四條 分家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコト

ヲ要ス

- 一 分家ノ戸主ト爲ルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

- 二 本家ノ戸主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ其戸主ト分家ノ戸主ト爲ルヘキ者トノ續柄

- 三 分家ノ家族ト爲ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日及ヒ職業

- 四 分家ノ戸主及ヒ家族ト爲ルヘキ者ノ父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

第百五十五條 廢絶家ヲ再興セント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 廢絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、職業及ヒ本籍地

- 二 廢絶ノ原因及ヒ年月日

- 三 廢絶シタル家ト再興ヲ爲ス者ノ家トノ續柄

- 四 再興ヲ爲ス者ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

- 五 再興ヲ爲ス者ニ隨ヒテ其家ニ入ルヘキ者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

戶籍法 身分ニ關スル届出、分家及ヒ廢絶家再興

第百五十六條 分家又ハ廢絶家再興ノ届出人ハ届書ニ戸主ノ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ戸主ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
前項ノ規定ハ民法第七百四十三條但書ノ規定ニ依リ親權ヲ行フ者又ハ發見人ノ同意ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十九節 國籍ノ得喪

第百五十七條 外國人カ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ婚姻又ハ縁組ノ届出人ハ届書ニ國籍取得者ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス
入夫婚姻又ハ養子縁組ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外届書ニ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第百五十八條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知者ハ

認知ノ届書ニ子ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

子ノ母カ外國人ナルトキハ認知者ハ届書ニ母ノ國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第百五十九條 歸化ヲ爲シタル者ハ歸化ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 歸化人ノ氏名、出生ノ年月日、職業、住所及ヒ原國籍
- 二 父母ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ國籍
- 三 歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シタルモノアルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト歸化人トノ續柄
- 四 許可ノ年月日

歸化人ノ妻又ハ子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セサルトキハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第百六十條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者ハ其國籍喪失前ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

戶籍法 身分ニ關スル届出、國籍ノ得喪

一 國籍喪失ノ原因

二 國籍喪失ノ期日ヲ知り得ヘキトキハ其年月日

三 法定ノ推定家督相續入アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト

届出人トノ續柄

四 新ニ取得スヘキ國籍

五 届出人ノ妻又ハ子カ共ニ國籍ヲ失フヘキトキハ其妻又ハ子ノ名、出生

ノ年月日及ヒ職業

第六十一條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失前ニ前條ノ届出ヲ爲スコト

能ハサリシトキハ國籍喪失後十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ國籍喪失者カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ之ヲ適用セ

ス

第六十二條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ國籍

喪失ノ届出人ハ届書ニ其者カ既ニ陸海軍ノ現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服ス

ル義務ナキコトノ證明書ヲ添フルコトヲ要ス

日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ官職ヲ帶フル者ナルトキハ國籍喪失ノ届出入ハ届

書ニ所屬長官ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第六十三條 日本ノ國籍ヲ回復シタル者ハ國籍回復ノ許可ヲ得タル日ヨリ十

日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ

要ス

一 日本ノ國籍ヲ失ヒタル原因及ヒ年月日

二 國籍回復前ニ有セシ國籍

三 國籍回復ノ許可ヲ得タル年月日

四 國籍回復者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ之ヲ回復シタル者アルトキ

ハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト國籍回復者トノ續柄

第二十節 氏名及ヒ族稱ノ變更

戶籍法 身分ニ關スル届出、氏名及ヒ族稱ノ變更 五十七

第六十四條 氏ヲ復舊シ又ハ名ヲ改稱シタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ管
轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 復舊又ハ改稱前ノ氏名

二 復舊シタル氏又ハ改稱シタル名

三 復舊又ハ改稱ノ原因及ヒ許可ノ年月日

第六十五條 新ニ華族ニ列セラレ又ハ華士族ノ稱ヲ失ヒタル者ハ十日内ニ左
ノ諸件ヲ具シ辭令書又ハ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコト
ヲ要ス

一 新舊族稱

二 族稱變更ノ原因

三 族稱變更ノ辭令又ハ許可アリタル年月日

前項ノ届出ハ其族稱ニ變更アリタル者カ家族ナルトキハ戶主ヨリ之ヲ爲スコ
トヲ要ス

第六十六條 前條ノ規定ハ分家、廢絶家再興又ハ處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタ
ル者ニハ之ヲ適用セス但處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル場合ニ於テハ裁判所ハ
其者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第二十一節 身分登記ノ變更

第六十七條 身分登記ノ變更ヲ請求セント欲スル者ハ原登記ヲ爲シタル戶籍
役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其申請ヲ爲スコトヲ要ス

第六十八條 身分登記變更ノ申請ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ一个月内

ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ原登記ヲ爲シタル戶籍吏ニ之ヲ爲スコ
トヲ要ス

一 原登記ノ件名及ヒ年月日

二 變更スヘキ事項

第六十九條 前條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ身分登記ノ變更ヲ申請スル場合
戶籍法 身分ニ關スル届出、身分登記ノ變更 五十九

ニ之ヲ準用ス

第五章 戸籍簿

第七十條 戸籍ハ戸籍吏ノ管轄地内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ之ヲ編製ス
日本ノ國籍ヲ有セサル者ハ本籍ヲ定ムルコトヲ得ス

第七十一條 戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴シテ帳簿ト爲ス

戸籍吏ノ管轄地内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區畫アル場合ニ於テ
ハ其區畫ノ順序ハ戸籍吏之ヲ定ム

第七十二條 戸籍簿ハ正副二本ヲ設ク

戸籍簿ノ正本ハ之ヲ戸籍役場ニ備ヘ其副本ハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁
判所之ヲ保存ス

第七十三條 家督相續、廢絶家其他ノ事由ニ因リ戸籍ノ全部ヲ抹消シタルモ
ノハ之ヲ戸籍簿ヨリ除キ別ニ編綴シテ帳簿ト爲シ之ヲ戸籍役場ニ保存ス

前項ノ帳簿ヲ保存スヘキ期間ハ司法大臣之ヲ定ム
第七十四條 第十二條乃至第十四條ノ規定ハ戸籍簿並ニ戸籍ノ謄本及ヒ抄本
ニ之ヲ準用ス

第六章 戸籍ノ記載手續

第七十五條 戸籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル

第七十六條 戸籍ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 戸主、前戸主及ヒ家族ノ氏名
 - 二 戸主ノ族稱及ヒ本籍地但家族ト戸主ト族稱ヲ異ニスル場合ニ於テハ家
族ニ付テモ其族稱ヲ記載スルコトヲ要ス
 - 三 戸主及ヒ家族ノ出生ノ年月日
 - 四 戸主又ハ家族ト爲リタル原因及ヒ年月日但出生ニ因リテ家族ト爲リタ
ル者ニ付テハ此記載ヲ要セス
- 戸籍法 戸籍ノ記載手續

- 五 戸主竝ニ家族ノ父母ノ氏名及ヒ其父母ト戸主又ハ家族トノ續柄
- 六 戸主ト前戸主トノ續柄及ヒ家族ト戸主トノ續柄但家族ノ中他家ヨリ入
リテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關
係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載
スルコトヲ要ス
- 七 他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ニ付テハ其原籍地、原籍ノ
戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト戸主又ハ家族ト爲リタル者トノ續柄
- 八 他家ヨリ入りテ家族ト爲リタル者ニシテ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有
スル者ニ付テハ其者ト他ノ家族トノ續柄
- 九 戸主又ハ家族ノ身分ノ變更及ヒ其原因竝ニ年月日
- 十 後見人アル者ニ付テハ後見人ノ氏名、住所及ヒ後見人ノ就職竝ニ任務
終了ノ年月日

第七十七條 戸主及ヒ家族ノ氏名ヲ戶籍ニ記載スルニハ左ノ順序ニ依ル

第一 戸主

第二 戸主ノ直系尊屬

第三 戸主ノ配偶者

第四 戸主ノ直系卑屬及ヒ其配偶者

第五 戸主ノ傍系親及ヒ其配偶者

第六 戸主ノ親族ニ非サル者

直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在
リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス

直系尊屬、直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位
ニ依リ親族間ノ順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ其順序ヲ定ム
前二項ノ規定ハ戸主ノ親族ニ非サル者ノ記載ニ之ヲ準用ス

第七十八條 戶籍吏カ身分登記ヲ爲シ又ハ戶籍ニ關スル届出ヲ受理シタルト
キハ次條以下ノ規定ニ從ヒテ戶籍ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

戶籍法 戶籍ノ記載手續

第七十九條 家督相續又ハ家督相續回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記及ヒ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ基キテ新戸主ノ戸籍ヲ編製スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消シ且其戸籍ト新戸主ノ戸籍トニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

胎兒方家督相續人ナル場合ニ於テハ其出生ニ至ルマテ前二項ノ手續ヲ爲スコトヲ要セス此場合ニ於テハ前戸主ノ戸籍中戸主ニ關スル部分ノミヲ抹消シ家督相續人ノ胎兒ナル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十條 分家、廢絶家再與其他新ニ家ヲ立ツヘキ事件ノ登記ヲ爲シ又ハ轉籍若クハ無籍戸主ノ就籍ノ届出ヲ受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キテ戸籍ヲ編製シ轉籍届書ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製スルニハ第七十六條ニ掲ケタル事項ノ外各場合ニ付キ特殊ナル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十一條 復籍拒絕ノ登記ヲ爲シタルトキハ復籍ヲ拒絕シタル者ノ戸籍ニ登記ノ要旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十二條 廢絶家ノ登記ヲ爲シタルトキハ最終戸主ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消スルコトヲ要ス

第八十三條 單身戸主ノ死亡又ハ失踪ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其家ニ家督相續人ナキコト分明ナルトキハ戸籍吏ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ死亡者又ハ失踪者ノ戸籍ニ絶家ノ原因及ヒ年月日ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消スルコトヲ要ス

第八十四條 戸籍吏ノ管轄地内ニ於ケル本籍地變更ノ届出ヲ受理シタルトキハ事由ヲ戸籍ニ記載シ舊本籍地ニ關スル記載ヲ抹消シ新本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十五條 前六條ノ場合ヲ除ク外身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ戸籍法 戸籍ノ記載手續

受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キ第百七十六條ニ掲ケタル事項ヲ戸籍ニ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ第百八十條第二項ノ規定ニ依リテ戸籍ニ記載シタル事項ノ變更アルトキハ其變更ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八十六條 戸籍ヲ編製シタル後一人又ハ數人ヲ戸籍ニ入ルヘキトキハ第百七十七條ノ順序ニ拘ハラヌ戸籍ノ末尾ニ之ヲ記載スルコトヲ得

第百八十七條 一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若クハ數人ヲ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ戸籍ニ記載シテ戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スルコトヲ要ス

第百八十八條 入籍ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ入籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ他ノ戸籍吏ノ管轄ヨリ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ヲ送付スルト同時ニ入籍ヲ爲シタル旨ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ通知スルコトヲ要ス

第百八十九條 除籍ノ手續ヲ爲スヘキ場合ニ於テ除籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ新管轄ノ戸籍吏

ヨリ入籍ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル後其通知ノ發送及ヒ受附ノ年月日ヲ戸籍ニ記載シテ除籍ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

轉籍ニ因リテ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外轉籍地及ヒ轉籍ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル届出ニ基キテ戸籍ノ記載ヲ爲ス場合ニ於テハ前十一條ニ規定シタル事項ノ外身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ノ受附年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九十一條 第十八條、第二十九條及ヒ第三十一條ノ規定ハ戸籍ノ記載ニ之ヲ準用ス

第百九十二條 戸籍用紙中ノ一部分ヲ用井盡シタルトキハ掛紙ヲ以テ用紙ニ充ツルコトヲ得

掛紙ヲ爲シタルトキハ戸籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第九十三條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ戶籍ニ記載シタル區畫、名稱又ハ番號ハ當然之ヲ改正シタルモノト看做ス

第九十四條 第七十九條及ヒ第八十條ノ規定ニ依リテ戶籍ヲ編製シタルトキハ戶籍吏ハ遲滯ナク其副本ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第七章 戶籍ニ關スル届出

第九十五條 戶籍吏ノ管轄地外ニ本籍ヲ轉セント欲スルトキハ戶主ヨリ左ノ諸件ヲ具シ戶籍ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ轉籍地ノ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

- 一 轉籍者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業
 - 二 原籍地及ヒ轉籍地
- 前項ノ届書ハ正副二本ヲ作ルコトヲ要ス

第九十六條 戶籍吏ノ管轄地内ニ於テ本籍地ヲ變更セント欲スルトキハ戶主

ヨリ原籍地及ヒ新本籍地ヲ具シテ其旨ヲ戶籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

第九十七條 届出ノ闕漏其他ノ事由ニ因リ本籍ヲ有セス又ハ複本籍ヲ有スル者ハ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲サントスル戶籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

第九十八條 就籍ノ届出ハ許可ノ裁判方確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ就籍スヘキ地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 就籍スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日時、職業及ヒ就籍スヘキ地
- 二 就籍スヘキ者ノ父母ノ氏名及ヒ其者ト父母トノ續柄
- 三 本籍ヲ有セサリシ原因
- 四 就籍スヘキ者カ前ニ本籍ヲ有セシトキハ其舊本籍地
- 五 就籍スヘキ者カ戶主ナルトキハ其旨
- 六 就籍スヘキ者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、族稱、職業及ヒ其者ト戶主トノ續柄

戶籍法 戶籍ニ關スル届出

七 就籍スヘキ者カ戸主及ヒ家族ナルトキハ戸主、家族ノ別及ヒ家族ト戸主トノ續柄

八 就籍スヘキ者カ他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ナルトキハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト就籍スヘキ者トノ續柄前項第六號及ヒ第七號ノ場合ニ於テ就籍スヘキ家族カ他家ヨリ入りテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者ナルトキ又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ届書ニ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載シ若シ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ其者ト他ノ家族トノ續柄ノミヲ記載スルコトヲ要ス

第九十九條 除籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ除籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 除籍スヘキ者ノ氏名、族稱、職業、本籍地及ヒ複本籍地
- 二 複本籍ヲ有セル原因

三 除籍スヘキ者カ本籍ト複本籍トニ於テ身分ヲ異ニスルトキハ本籍竝ニ複本籍ニ於ケル身分及ヒ其身分ノ異ナル原因

第二百條 就籍又ハ除籍スヘキ者カ家族ナルトキ又ハ戸主及ヒ家族ナルトキハ前二條ノ届出ハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百一條 第九十八條及ヒ第九十九條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百二條 第四十三條、第四十四條、第四十六條、第四十九條乃至第五十二條、第五十四條、第五十五條、第五十八條及ヒ第六十二條乃至第六十六條ノ規定ハ本章ノ届出ニ之ヲ準用ス

第八章 抗告

第二百三條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル事件ニ付キ戸籍吏ノ處分ヲ不當トスル者ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

戸籍法 抗告

第二百四條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

抗告狀ニハ届書又ハ申請書及ヒ其他ノ關係書類ヲ添フルコトヲ要ス

第二百五條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ戶籍吏ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百六條 戶籍吏ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ其意見ヲ附シ送付ヲ受ケタル書類ヲ五日内ニ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

第二百七條 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ其理由アリトスルトキハ戶籍吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ之ヲ戶籍吏及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

第二百八條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由ト

スルトキニ限り民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第二百九條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第九章 罰則

第二百十條 本法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二百十一條 期間内ニ届出又ハ申請ヲ爲ササルニ因リ戶籍吏カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ尙ホ其届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラルニ同以上戶籍吏ノ催告ニ應セサル者亦同シ

第二百十二條 戶籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處セラル
一 正當ノ理由ナクシテ身分又ハ戶籍ニ關スル届出若クハ申請ヲ受理セサルトキ

二 身分登記又ハ戶籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
戶籍法 罰則

第二百十三條 戶籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以下ノ過料ニ處セラル

一 正當ノ理由ナクシテ身分登記簿又ハ戶籍簿ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

二 正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戶籍ノ謄本若クハ抄本ヲ交付セス又

ハ身分若クハ戶籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理ノ證明書ヲ交付セサルト

キ

第二百十四條 本章ニ定メタル過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ

居所ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事

件手續法ノ規定ヲ準用ス

第二百十五條 自己又ハ他人ノ利ヲ圖リ若クハ他人ヲ害スル目的ヲ以テ身分又

ハ戶籍ニ關シ詐偽ノ届出若クハ申請ヲ爲シタル者ハ十一日以上四年以下ノ重

禁錮又ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル

附則

第二百十六條 市町村長ヲ置カサル地ニ於テハ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ヲ以

テ戶籍吏トシ其吏員ノ職務ヲ行フ役場ヲ以テ戶籍役場トス

市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スヘキ者ナキ地ニ在リテハ監督區裁

判所ヲ管轄スル地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其事務ヲ代理スヘ

キ者ヲ定ム

市參事會員其他戶籍吏ノ職務ヲ行フヘキ吏員ナキ地ニ於テ此等ノ者ニ代リテ

戶籍吏ノ職務ヲ行フヘキ者モ亦前項ノ手續ニ依リテ之ヲ定ム

第二百十七條 本法ノ規定ニ依リテ納付スル手数料ハ之ヲ市町村ノ收入トス

但國庫ヨリ戶籍役場ノ經費ヲ支辨スル地ニ在リテハ之ヲ國庫ノ收入トス

手数料ノ金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二百十八條 本法ノ規定ニ依リ届出人其他ノ者ノ署名、捺印ヲ要スル場合ニ

於テ其者カ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルト

キハ名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル若シ署名スルコト能ハス且印ヲ有セ

戶籍法 附則

サルトキハ名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル
前項ノ規定ニ依リ捺印セス又ハ名ヲ代署セシメ若クハ捺印シタル場合ニ於テ
ハ書面ニ其事由ヲ附記スルコトヲ要ス

第二百十九條 明治三十一年十二月三十一日マテハ従前登記目録トシテ備ヘタ
ル帳簿ヲ以テ身分登記簿ニ代用スルコトヲ得

第二百二十條 登記目録ノ冊數又ハ紙數カ身分登記簿ニ代用スルニ足ラサル場
合ニ於テハ明治三十一年十二月三十一日マテノ身分登記簿ニ限り戸籍吏ハ第
九條ノ規定ニ拘ハラズ登記目録ヲ作製スルト同一ノ手續ニ依リテ之ヲ作製ス
ルコトヲ得

前項ノ規定ハ登記目録ノ設ナカリシ地ノ身分登記簿ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條 本法ノ規定ニ依リ戸籍ヲ改製スヘキ時期ハ各地又ハ一般ニ付
キ司法大臣之ヲ定ム

本法施行後戸籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニ於テハ其記載又

ハ編製ニ付テハ本法ノ規定ニ從フコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ其事
實ヲ知ルコト能ハサルモノ又ハ従前ノ戸籍用紙申其事項ヲ記載スヘキ區畫ノ
設ナキトキハ其記載ヲ省クコトヲ得

第二百二十二條 明治四年四月四日布告戸籍法、明治十九年内務省令第十九號
及ヒ同年内務省令第二十二號ハ寄留ニ關スル規定ヲ除ク外本法施行ノ日ヨリ
之ヲ廢止シ其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ牴觸シ又ハ重複スルモノハ同日ヨ
リ之ヲ廢止ス

寄留ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ第五條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔參照〕

明治十九年(九月二十八日)内務省令第十九號ハ出生死去出入等届出方及寄
留者届出方ノ件、同年(十月十六日)内務省令第二十二號ハ戸籍取扱手續ヲ

附 録

法律第二十一號(明治三十一年七月十一日公布)
明治六年第百三號布告左ノ通改正ス

第一條 日本人カ外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スニハ内務大臣ノ許可ヲ得ルコト
ヲ要ス

第二條 内務大臣ハ外國人カ左ノ條件ヲ具備スルニ非サンハ前條ノ許可ヲ與フ
ルコトヲ得ズ

- 一、引續キ一年以上日本ニ住所又ハ居所ヲ有スルコト
- 二、品行端正ナルコト

司法省令第十二號(明治三十一年七月十二日公布)

東京市、京都市及ヒ大阪市ノ各區ニ於テハ區長ヲ以テ戶籍吏トス

(理由) 此省令ハ戶籍法第二條但書ノ規定アルニ依リ發布セラレタルモノ
ナリ

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル競賣法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十一年六月十五日

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文
司法大臣 曾禰荒助

法律第十五號

競賣法

第一章	通則	一	丁
第二章	動產ノ競賣	一	丁
第三章	不動産ノ競賣	七	丁
第四章	船舶ノ競賣	十	丁
第五章	増價競賣	十三	丁
附則		十八	丁

競賣法目次

第一章	通則	一
第二章	動産ノ競賣	一
第三章	不動産ノ競賣	一
第四章	競賣ノ執行	一
第五章	競賣ノ效力	一
第六章	競賣ノ取消	一
第七章	競賣ノ無効	一
第八章	競賣ノ附帯	一
第九章	競賣ノ競買人	一
第十章	競賣ノ競買金	一
第十一章	競賣ノ競買人ノ責任	一
第十二章	競賣ノ競買人ノ権利	一
第十三章	競賣ノ競買人ノ義務	一
第十四章	競賣ノ競買人ノ地位	一
第十五章	競賣ノ競買人ノ責任ノ免除	一
第十六章	競賣ノ競買人ノ権利ノ行使	一
第十七章	競賣ノ競買人ノ義務ノ履行	一
第十八章	競賣ノ競買人ノ地位ノ維持	一
第十九章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及	一
第二十章	競賣ノ競買人ノ権利ノ喪失	一
第二十一章	競賣ノ競買人ノ義務ノ不履行	一
第二十二章	競賣ノ競買人ノ地位ノ喪失	一
第二十三章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及ノ免除	一
第二十四章	競賣ノ競買人ノ権利ノ行使ノ妨害	一
第二十五章	競賣ノ競買人ノ義務ノ履行ノ妨害	一
第二十六章	競賣ノ競買人ノ地位ノ維持ノ妨害	一
第二十七章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及ノ妨害	一
第二十八章	競賣ノ競買人ノ権利ノ喪失ノ妨害	一
第二十九章	競賣ノ競買人ノ義務ノ不履行ノ妨害	一
第三十章	競賣ノ競買人ノ地位ノ喪失ノ妨害	一
第三十一章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及ノ妨害	一
第三十二章	競賣ノ競買人ノ権利ノ喪失ノ妨害	一
第三十三章	競賣ノ競買人ノ義務ノ不履行ノ妨害	一
第三十四章	競賣ノ競買人ノ地位ノ喪失ノ妨害	一
第三十五章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及ノ妨害	一
第三十六章	競賣ノ競買人ノ権利ノ喪失ノ妨害	一
第三十七章	競賣ノ競買人ノ義務ノ不履行ノ妨害	一
第三十八章	競賣ノ競買人ノ地位ノ喪失ノ妨害	一
第三十九章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及ノ妨害	一
第四十章	競賣ノ競買人ノ権利ノ喪失ノ妨害	一
第四十一章	競賣ノ競買人ノ義務ノ不履行ノ妨害	一
第四十二章	競賣ノ競買人ノ地位ノ喪失ノ妨害	一
第四十三章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及ノ妨害	一
第四十四章	競賣ノ競買人ノ権利ノ喪失ノ妨害	一
第四十五章	競賣ノ競買人ノ義務ノ不履行ノ妨害	一
第四十六章	競賣ノ競買人ノ地位ノ喪失ノ妨害	一
第四十七章	競賣ノ競買人ノ責任ノ追及ノ妨害	一
第四十八章	競賣ノ競買人ノ権利ノ喪失ノ妨害	一
第四十九章	競賣ノ競買人ノ義務ノ不履行ノ妨害	一
第五十章	競賣ノ競買人ノ地位ノ喪失ノ妨害	一

競賣法

第一章 通則

第一條 競買ノ申込ハ他ノ高價競買ノ申込アリタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣ヲ終了シタルトキハ當然其效力ヲ失フ

第二條 競買人ハ競落ニ因リテ競賣ノ目的タル權利ヲ取得ス

競賣ノ目的ノ上ニ存スル先取特權及ヒ抵當權ハ競落ニ因リテ消滅ス

競買人ハ留置權者、競買人ニ對シテ優先權ヲ有スル質權者及ヒ其實權者ニ對シテ優先權ヲ有スル債權者ニ辨濟スルニ非サレハ競賣ノ目的物ヲ受取ルコトヲ得ス

第二章 動産ノ競賣

第三條 動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者其他民法又ハ商法ノ規定ニ

競賣法 通則、動産ノ競賣

依リテ其競賣ヲ爲サントスル者ノ委任ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所
屬ノ執達吏之ヲ爲ス

前項ノ委任ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ハ其競賣人ト爲ルコトヲ得ス

債權者ノ委任ニ因リテ競賣ヲ爲ス場合ニ於テハ債務者ハ現金ヲ以テ代價ヲ提
供スルニ非サレハ其競買ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 競賣ハ競賣ニ付スヘキ物ノ現在地ニ於テ之ヲ爲ス但其地ニ於テ相當ノ
代價ヲ得ル見込ナキトキハ他所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第六條 競賣ノ日時ハ執達吏カ其委任ヲ受ケタルトキ直チニ之ヲ定ムルコトヲ
要ス但直チニ之ヲ定ムルコト能ハサル事情アルトキハ此限ニ在ラス

第七條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ豫メ公告スルコトヲ要ス

公告ハ競賣ニ付スヘキ物ノ品質及ヒ價格ニ準シ競賣地ニ於ケル適當ノ方法ヲ
以テ之ヲ爲スヘシ

公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 競賣委任者ノ氏名住所
 - 二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質
 - 三 競賣ノ條件ヲ定メタルトキハ其條件
 - 四 競賣ノ場所及ヒ年月日時
 - 五 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ノ氏名、住所
- 委任者カ競賣ノ條件ヲ定メサリシトキハ民事訴訟法第五百七十七條第三項ノ
規定ヲ準用ス

第八條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シテ其通
知ヲ發スルコトヲ要ス但通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ
此限ニ在ラス

第九條 公告ト競賣トノ間ニハ五日以上ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス但競賣ニ付
スヘキ物ニ關シ之ヨリ速ニ競賣ヲ爲スコトヲ要スル特別ノ事情アルトキハ此
競賣法 動産ノ競賣

限ニ在ラス

第十條 高價品ノ競賣ハ鑑定人ヲシテ其評價ヲ爲サシメタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

第十一條 金銀及ヒ金銀ノ製品ハ地金銀ノ相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

取引所ノ相場アル物ハ其相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

第十二條 前條ニ掲ケタル物ヲ競賣スル場合ニ於テ競賣ノ日ニ相當ナル競買ノ申込ナキトキハ執達吏ハ金銀及ヒ金銀ノ製品ニ付テハ地金銀ノ相場以上ノ代價、取引所ノ相場アル物ニ付テハ競賣ノ日ノ相場以上ノ代價ヲ以テ任意ニ之ヲ賣却スルコトヲ得

第十三條 競賣ハ其條件ヲ告知シ各競賣物ニ付キ競買ノ申込ヲ催告スルニ始マリ最高價競買ノ申込入ニ對シ競落ノ告知ヲ爲スニ因リテ終了ス競落ノ告知ハ最高價競買ノ申込ヲ三回呼上ケタル後之ヲ爲ス

第十四條

執達吏ハ競賣調書ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シ署名、捺印スヘシ

- 一 競賣委任者ノ氏名、住所
- 二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質
- 三 鑑定人ヲシテ評價ヲ爲サシメタルトキハ其評價額
- 四 競賣ノ場所及ヒ日時
- 五 第九條但書ノ事由アリタルトキハ其事由
- 六 利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知ヲ發シタルコト若シ之ヲ發セサリシトキハ其事由

七 告知シタル競賣ノ條件

八 各競賣物ニ對スル競落人ノ氏名及ヒ其申込價額

九 競賣ヲ停止シタルトキ又ハ競落ヲ爲ササリシトキハ其事由

十 競賣ノ開始及ヒ完結ノ日時

十一 競賣調書ヲ作りタル場所及ヒ年月日

競賣調書ニハ委任者又ハ其代理人ヲシテ署名、捺印セシメ且競賣ノ公告ヲ爲シ及ヒ通知ヲ發シタルコトヲ證スル書面及ヒ委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

執達吏ハ委任者ノ請求ニ因リ競賣調書ノ謄本ヲ交付スルコトヲ要ス
第十五條 執達吏ハ競賣ノ完結後賣得金ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金及ヒ競落セサリシ物ハ遲滯ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付シ又ハ其者ノ爲メニ之ヲ供託スルコトヲ要ス

第十六條 執達吏ハ競賣ニ付キ正副二通ノ計算書ヲ作り其正本ハ計算ニ關スル證明書ト共ニ之ヲ委任者ニ交付シ其副本ハ之ヲ競賣調書ニ添附スヘシ
第十七條 競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ競賣ノ完結ニ至ルマテ其手續ニ關スル執達吏ノ處分ニ付キ其所屬區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ裁判ハ申立人ニ之ヲ通知スヘシ此裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
異議ノ裁判ハ之ヲ以テ善意ノ競落人ニ對抗スルコトヲ得ス

第十八條 前條ノ規定ニ依リテ異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ競賣ノ停止ヲ命スルコトヲ得但停止ニ因リテ著シキ損害ヲ生スル虞アルトキハ此限ニ在ラス

第十九條 第三者カ競賣ノ目的物ニ關シテ訴ヲ是起シタルコトヲ證明シタルトキハ執達吏ハ其競賣ヲ停止スルコトヲ要ス
物ノ保管ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキ又ハ遲滯ノ爲メ著シク物ノ價格ヲ減少スル虞アルトキハ執達吏ハ競賣ヲ續行シテ賣得金ヲ供託スルコトヲ得
第二十條 前二條ノ規定ニ依リテ競賣ヲ停止シタル場合ニ於テハ執達吏ハ相當ノ方法ヲ以テ競賣ノ目的物ヲ保管スルコトヲ要ス此場合ニ於ケル競賣手續及ヒ保管ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第二十一條 競賣ノ委任ハ競落ノ告知アルマテ之ヲ取消スコトヲ得
前項ノ場合ニ於ケル競賣手續ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第三章 不動産ノ競賣
競賣法 不動産ノ競賣

二十二條 不動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者、抵當權者其他民法ノ規定ニ依リテ競賣ヲ爲サントスル者ノ申立ニ因リ不動産所在地ノ區裁判所之ヲ爲ス

民事訴訟法第六百四十一條第一項ノ規定ハ競賣ヲ爲スヘキ裁判所ノ管轄ニ之ヲ準用ス

二十三條 申立人ハ競落期日マテハ最高價競買申込人ノ同意アル場合ニ限り其申立ノ取下ヲ爲スコトヲ得

二十四條 競賣ノ申立ハ書面ヲ提出シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ

- 一 債務者及ヒ所有者ノ氏名、住所
- 二 競賣ニ付スヘキ不動産ノ表示
- 三 競賣ノ原因タル事由

四 年月日

五 裁判所

申立書ニハ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六百四十三條第一項第二號乃至第五號、第二項及ヒ第三項ノ規定ハ第一項ノ申立ニ之ヲ準用ス

第二十五條 競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

開始決定ニハ申立人ノ氏名、住所及ヒ前條第二項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル判事之ニ署名、捺印スヘシ

民事訴訟法第二百三十九條ノ規定ハ開始決定ニ之ヲ準用ス

第二十六條 裁判所ハ開始決定ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ニ登記スヘキ旨ヲ其管轄登記所ニ囑託スヘシ

民事訴訟法第六百五十一條第二項、第六百五十二條及ヒ第六百五十三條ノ規定ニ準用ス

競賣法 不動産ノ競賣

定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 裁判所カ開始決定ヲ爲シタルトキハ競賣期日及ヒ競賣期日ヲ定メ
テ之ヲ公告スルコトヲ要ス

競賣ノ期日ハ競賣手續ノ利害關係人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス
左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

一 申立人

二 債務者及ヒ所有者

三 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者

四 不動産上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者

第二十八條 裁判所ハ鑑定人ヲシテ競賣ニ付スヘキ不動産ノ評價ヲ爲サシメ其
評價額ヲ以テ最低落賣價額トスヘシ

第二十九條 競賣期日ノ公告ニハ第二十二條ニ掲ケタル者ノ申立ニ因リテ競賣
ヲ爲ス旨ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五號乃至第七

號、第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス
民事訴訟法第六百六十一條ノ規定ハ前項ノ公告ニ之ヲ準用ス

第三十條 競賣期日、其開始、競賣調書及ヒ競賣終局ノ告知ニ關スル民事訴訟法

第六百五十九條、第六百六十二條乃至第六百六十九條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ
之ヲ準用ス

第三十一條 競賣期日ニ相當ノ競買申込ナキトキハ裁判所ハ更ニ期日ヲ定メテ
競賣ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第六百七十條ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 競落期日ハ民事訴訟法第六百六十條ノ規定ニ從ヒ裁判所ニ於テ之
ヲ開ク

競落ノ手續、競落ヲ許ササル場合ノ新競賣期日、競賣ノ履行及ヒ競落人ノ義務
不履行ノ場合ニ於ケル再競賣ニ關スル民事訴訟法第六百七十一條乃至第六百
七十四條、第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七條及ヒ第六百八
十八條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

競賣法 不動産ノ競賣

第三十三條 競落人ハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル後直チニ代價ヲ裁判所ニ支拂フコトヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ其裁判ノ謄本ヲ添ヘ競落人カ取得シタル權利ノ移轉ノ登記ヲ管轄登記所ニ囑託スヘシ
裁判所ハ前項ノ代價ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付スルコトヲ要ス

第三十四條 裁判所ハ競賣期日ノ公告ヲ爲ス前申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲シタル登記ノ抹消ヲ囑託スヘシ

第四章 船舶ノ競賣

第三十六條 登記シタル船舶ノ競賣ハ申立ニ因リ其當時ノ碇泊港又ハ船舶ノ現

在地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス

第三十七條 競賣ノ申立書ニハ船舶所有者並ニ船長ノ氏名、住所、船舶ノ表示及ヒ競賣ノ原因ヲ記載シ且船舶登記簿ノ謄本及ヒ官ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其認可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十八條 競賣期日ノ公告ニハ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外船舶ノ表示及ヒ其碇泊港又ハ現在ノ場所ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十九條 前章ノ規定及ヒ民事訴訟法第七百十九條、第七百二十條第二項、第七百二十三條、第七百二十五條ノ規定ハ船舶ノ競賣ニ之ヲ準用ス

第五章 增價競賣

第四十條 民法第三百八十四條ノ規定ニ依リテ抵當不動産ノ增價競賣ヲ請求スル債權者ハ第三取得者ニ競賣ノ請求ヲ送達シタル日ヨリ三日内ニ抵當不動産所在地ノ區裁判所ニ競賣ノ申立ヲ爲シ且擔保ノ認許ヲ求ムルコトヲ要ス
競賣法 船舶ノ競賣、增價競賣

前項ノ規定ニ依ラサル競賣ノ請求ハ無効トス

第四十一條 競賣ノ申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ請求債權者之ニ署名、捺印ス
ハシ

- 一 債務者ノ氏名、住所
- 二 抵當不動産ノ表示
- 三 第三取得者及ヒ讓渡人ノ氏名、住所
- 四 擔保ノ表示
- 五 第三取得者カ提供シタル金額
- 六 請求者カ定メタル増價金額
- 七 年月日
- 八 裁判所

申立書ニハ民法第三百八十三條ノ送達ヲ受ケタル日ヲ證スル書面ヲ添附スル
コトヲ要ス

民事訴訟法第六百四十三條第一項第三號乃至第五號、第二項及ヒ第三項ノ規
定ハ本條ノ申立ニ之ヲ準用ス

第四十二條 裁判所ハ擔保ノ許否ニ付キ期日ヲ定メ決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘ
シ

期日ニハ請求債權者及ヒ第三取得者ヲ呼出タスヘシ

擔保ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十三條 競賣ノ請求ハ擔保ヲ認許セサル裁判ニ因リテ當然其效力ヲ失フ

民法第三百八十四條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ニ對シテ競賣ノ請求書ヲ
送達シタル他ノ債權者ハ前項ノ裁判アリタル日ヨリ三日内ニ第四十條ノ申立
ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 裁判所カ擔保ヲ認許シタルトキハ競賣手續ノ開始ノ決定ヲ爲スヘ
シ

決定ニハ認許シタル擔保ヲ表示シ且第四十一條第一項第一號乃至第三號、第
競賣法 增價競賣

六號及ヒ第七號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ
第二十五條第二項、第三項及ヒ第二十六條第一項ノ規定ハ本條ノ決定ニ之ヲ
準用ス

第四十五條 第二十七條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ增價競賣ニ之ヲ準用ス
左ニ記載シタル者ヲ利害關係入トス

- 一 競賣請求者
 - 二 債務者
 - 三 第三取得者及ヒ讓渡人
 - 四 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者
 - 五 不動産上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者
- 第四十六條 競賣ノ公告ニハ增價競賣ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨及ヒ請求者
ノ定メタル增價金額ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五
號、第七號、第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第三十三條及ヒ民事訴訟法第六百五十九條乃至第六百六十九條、第六百七十
一條乃至第六百七十四條、第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七
條ノ規定ハ本章ノ競賣及ヒ競落ノ手續ニ之ヲ準用ス

第四十七條 競賣期日ニ請求債權者カ定メタル增價金額ニ達スル競買ノ申込
キトキハ請求債權者ヲ以テ競落人トス
民事訴訟法第六百七十八條ノ規定ニ依リ最高價競買人カ其競買ヲ取消シタル
トキハ裁判所ハ更ニ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要
ス

第四十八條 增價競賣ノ擔保ハ競落代價ノ完済ニ因リテ其效力ヲ失フ

第四十九條 裁判所ハ競賣請求者ノ申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ
此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ
規定ヲ準用ス

競賣法 增價競賣、附則

附則

第五十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 明治二十三年法律第九十二號增價競賣法ハ本法發布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百、第一〇一、第一〇二、第一〇三、第一〇四、第一〇五、第一〇六、第一〇七、第一〇八、第一〇九、第一一〇、第一一一、第一一二、第一一三、第一一四、第一一五、第一一六、第一一七、第一一八、第一一九、第一二〇、第一二一、第一二二、第一二三、第一二四、第一二五、第一二六、第一二七、第一二八、第一二九、第一三〇、第一三一、第一三二、第一三三、第一三四、第一三五、第一三六、第一三七、第一三八、第一三九、第一四〇、第一四一、第一四二、第一四三、第一四四、第一四五、第一四六、第一四七、第一四八、第一四九、第一五〇、第一五一、第一五二、第一五三、第一五四、第一五五、第一五六、第一五七、第一五八、第一五九、第一六〇、第一六一、第一六二、第一六三、第一六四、第一六五、第一六六、第一六七、第一六八、第一六九、第一七〇、第一七一、第一七二、第一七三、第一七四、第一七五、第一七六、第一七七、第一七八、第一七九、第一八〇、第一八一、第一八二、第一八三、第一八四、第一八五、第一八六、第一八七、第一八八、第一八九、第一九〇、第一九一、第一九二、第一九三、第一九四、第一九五、第一九六、第一九七、第一九八、第一九九、第二〇〇]

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル國籍法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年三月十五日

内閣總理大臣 侯爵 山縣有朋
内務大臣 侯爵 西郷從道

法律第六十六號